

町民アンケート調査 結果概要

■ 調査概要

調査対象者	15歳以上の町民2,000人(無作為抽出)
調査方法	郵送配布、郵送・WEB回収
調査時期	令和6年12月20日(金)～12月30日(月)
調査項目	・回答者の属性 ・日常的な買い物、通院、通勤・通学について ・公共交通の利用状況 など
回収状況	回収票数:825票 回収率:41.3%

■ 調査結果

- ・図表中の「n」は設問の有効回答数を示します。
- ・図表中の「MA」は複数回答の設問での有効回答数合計を示します。
- ・調査結果のグラフは、各回答の比率(%)で表示しています。
- ・各回答の比率(%)は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、各回答の比率(%)の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合、回答件数の合計は回答者数(100%)を超える場合があります。
- ・一つに回答に対して複数回答している等、本人の意思が読み取れない回答については集計上無回答に分類しています。

<クロス集計について>

- ・単一回答の設問に関しては、グラフの数値は5.0%未満を非表示にしています。

1. 回答者の属性

① 年代、居住地

- 高齢者層からの回答が多く、60歳以上が半数以上を占めている。
- 回答者の居住地は、市川地域が多い。

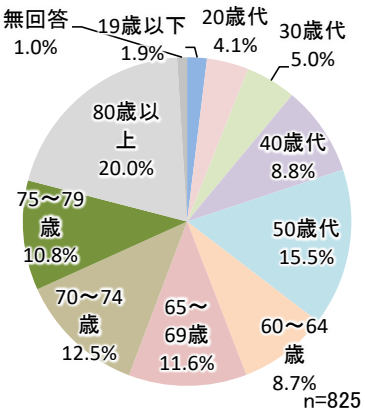


図 年齢

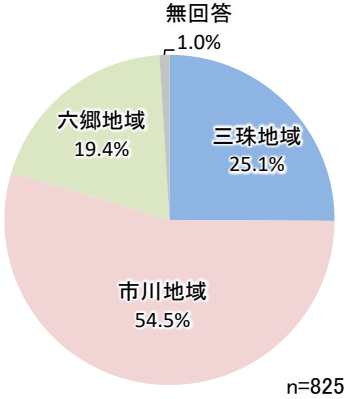


図 居住地

資料 1

② 自家用車利用について

- 運転免許保有状況は、約8割が「持っている」と回答している。
- 運転免許返納意向は、「運転に不安があるが、移動が不便になるため返納は考えていない」が約1割。65歳以上になると運転に不安を抱く傾向がある。

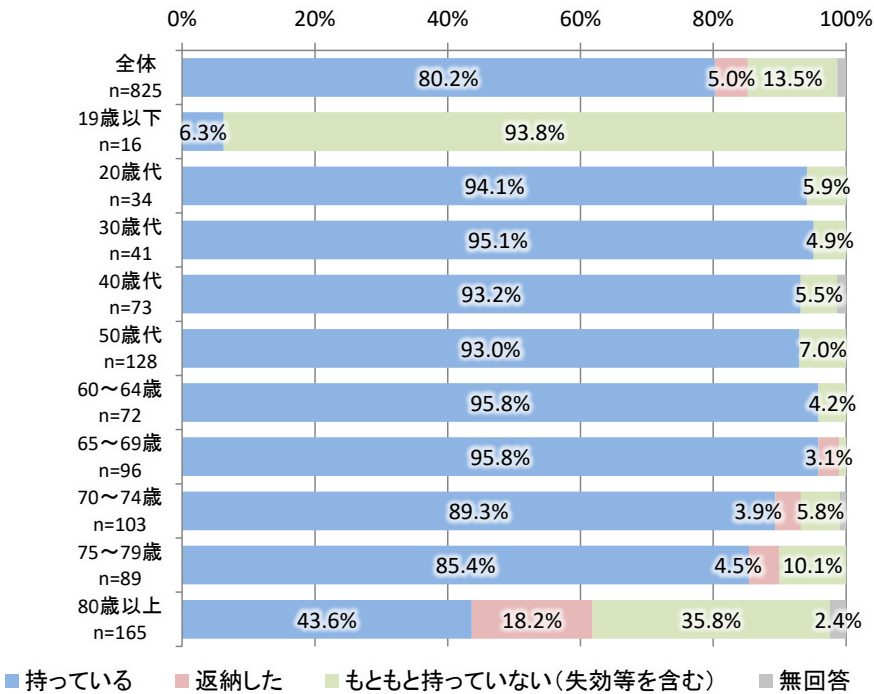


図 運転免許の保有状況

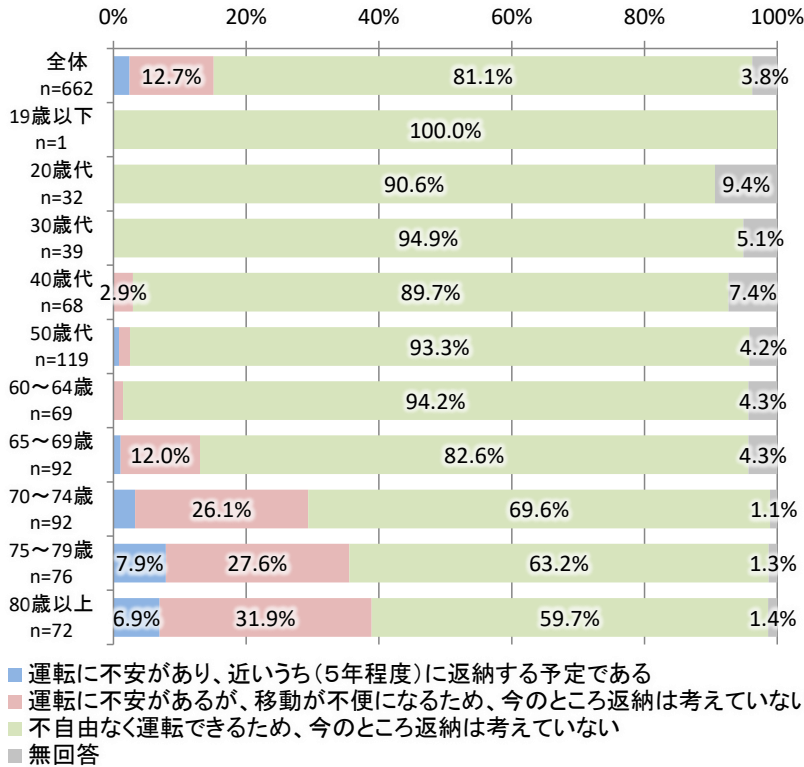


図 運転免許の返納意向

③ 運転状況について

- 普段の運転頻度は、「ほぼ毎日」「週に3～4日」「週に1～2日」が多い。
- 無理なく運転できる時間は、「30～59分」「120分以上」「60～89分」が多い。65歳以上になると、連続運転時間が短くなる傾向が見られる。

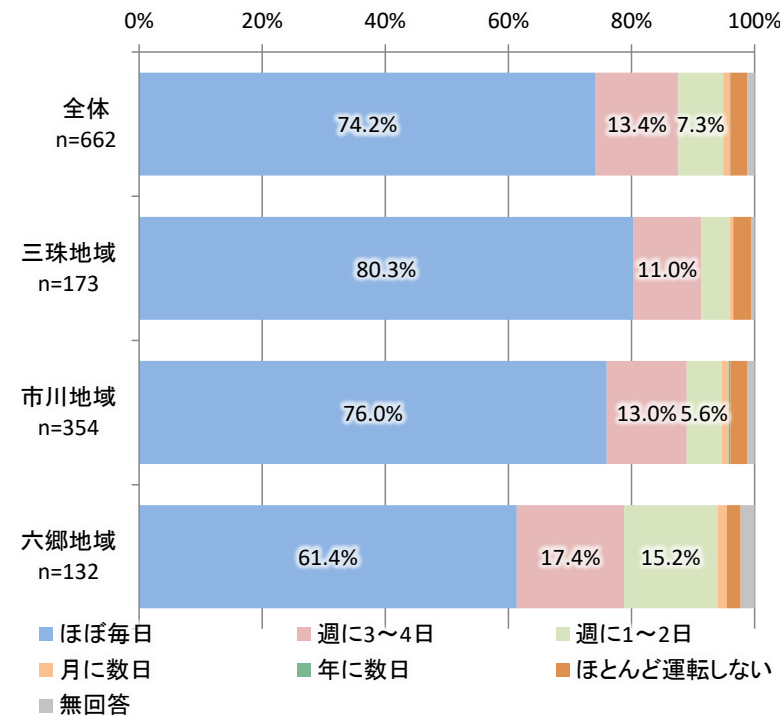


図 普段の運転頻度

③ 送迎について

- 家族や知人を送迎する頻度は、「ほとんど送迎しない」「月に数日」「週に1～2日」が多い。
- 負担を感じるシーンとしては、「あまり負担感はない」「まったく負担感がない」「夕方以降の送迎に負担感がある」が多い。

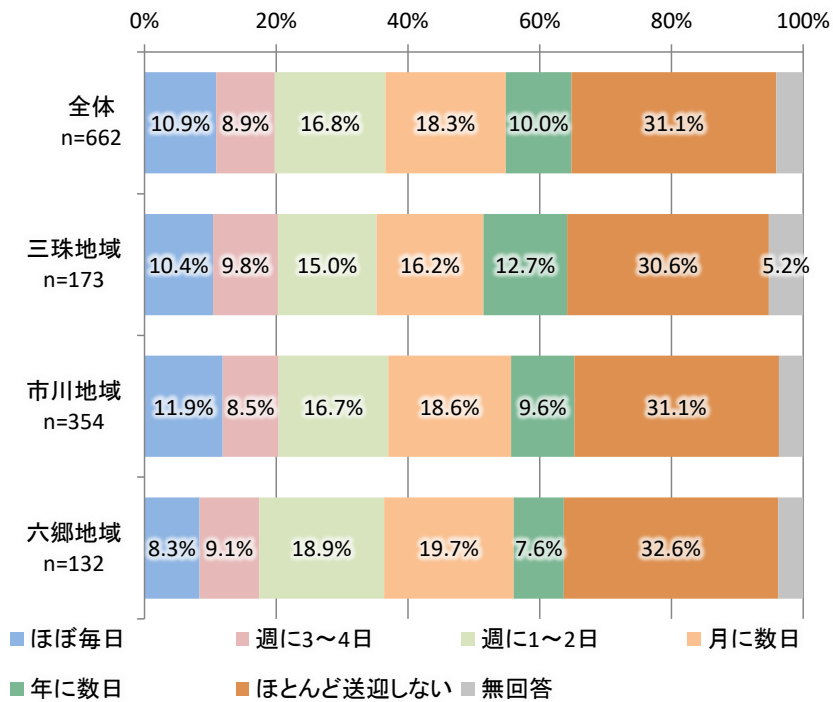


図 送迎の頻度

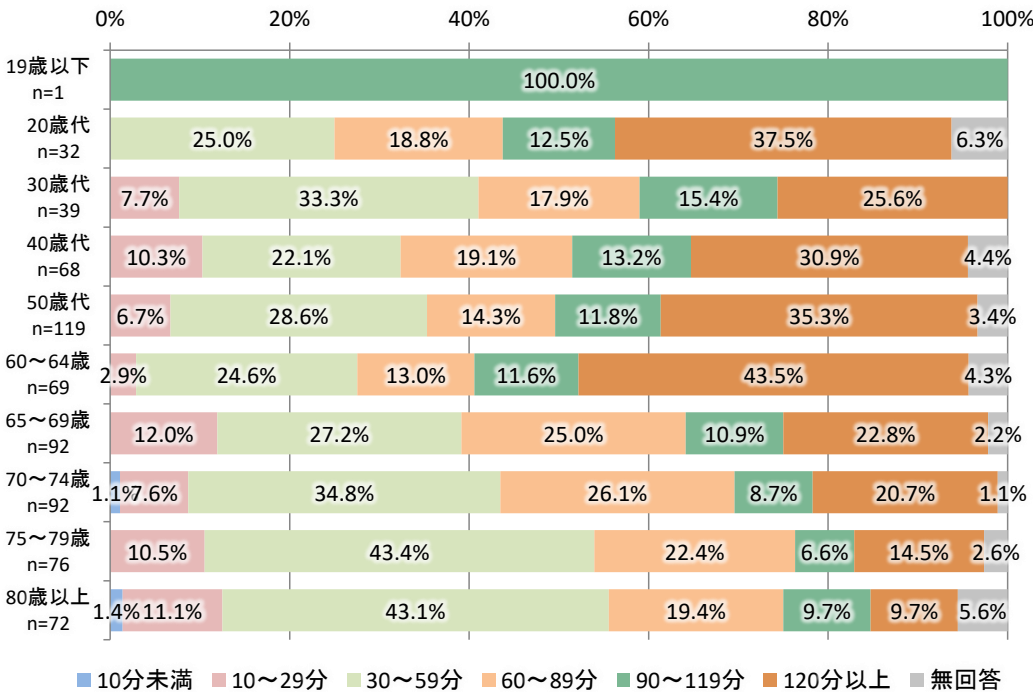


図 無理なく運転できる時間(年齢別)

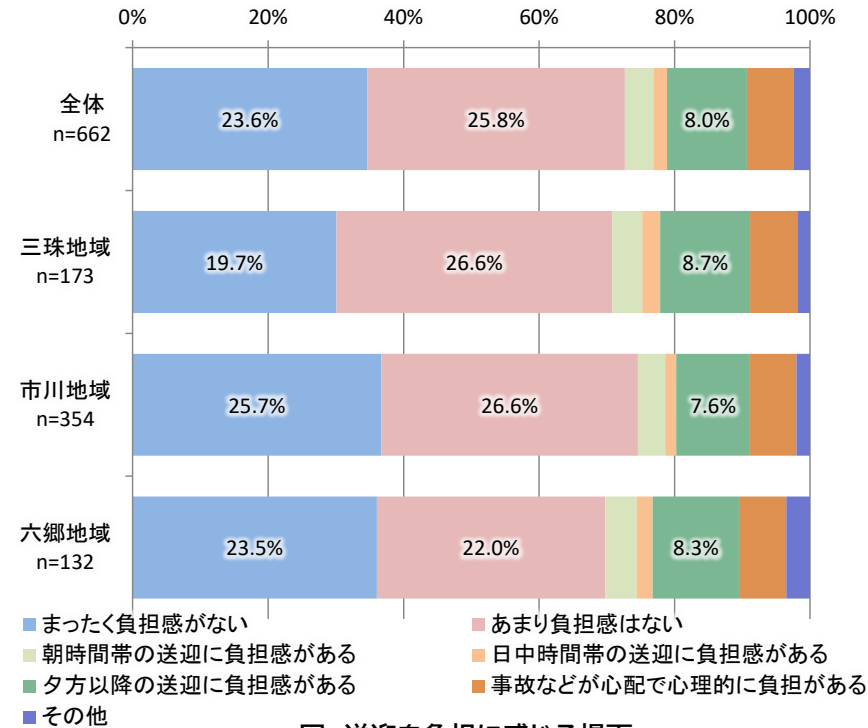


図 送迎を負担に感じる場面

③ デジタル技術の利用状況について

- スマートフォンの利用状況は、「日常的に利用している」「たまに利用している」「ほとんど使わない」が多い。
- 利用したことがある電子決済方法は、「電子マネー」「クレジットカードのタッチ決済」「QR決済」が多い。

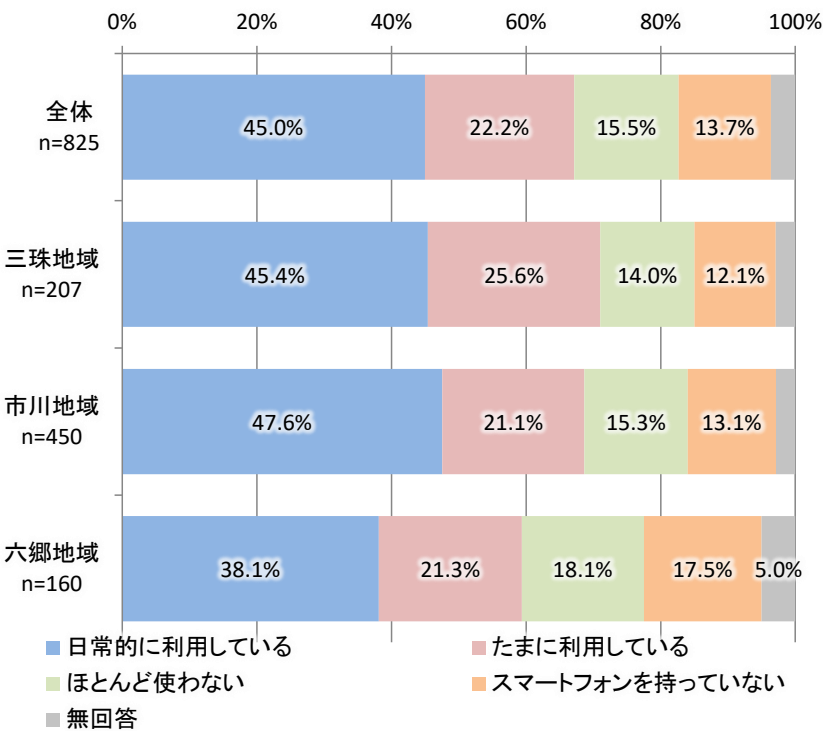


図 スマートフォンの利用状況

表 利用したことがある電子決済方法

	利用したことがある電子決済方法					合計
	QR決済	電子マネー	クレジットカードのタッチ決済	電子決済を利用しない	無回答	
全体 n=825	28.6%	32.1%	32.0%	37.8%	10.9%	141.5%
三珠地域 n=207	30.4%	35.7%	34.3%	35.3%	10.6%	146.4%
市川地域 n=450	30.2%	30.4%	30.7%	38.2%	10.7%	140.2%
六郷地域 n=160	23.1%	33.1%	33.1%	40.6%	10.0%	140.0%
無回答 n=8	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	50.0%	112.5%

- 交通系ICカードの保有状況は、全体の約7割が「持っていない」、約3割が「持っている」と回答している。高齢になるほど保有率が下がる傾向にある。
- 交通系ICカードの利用頻度は、「年に数日程度」が5割以上を占め、次いで「月に数日程度」「年1日以下」が多い。

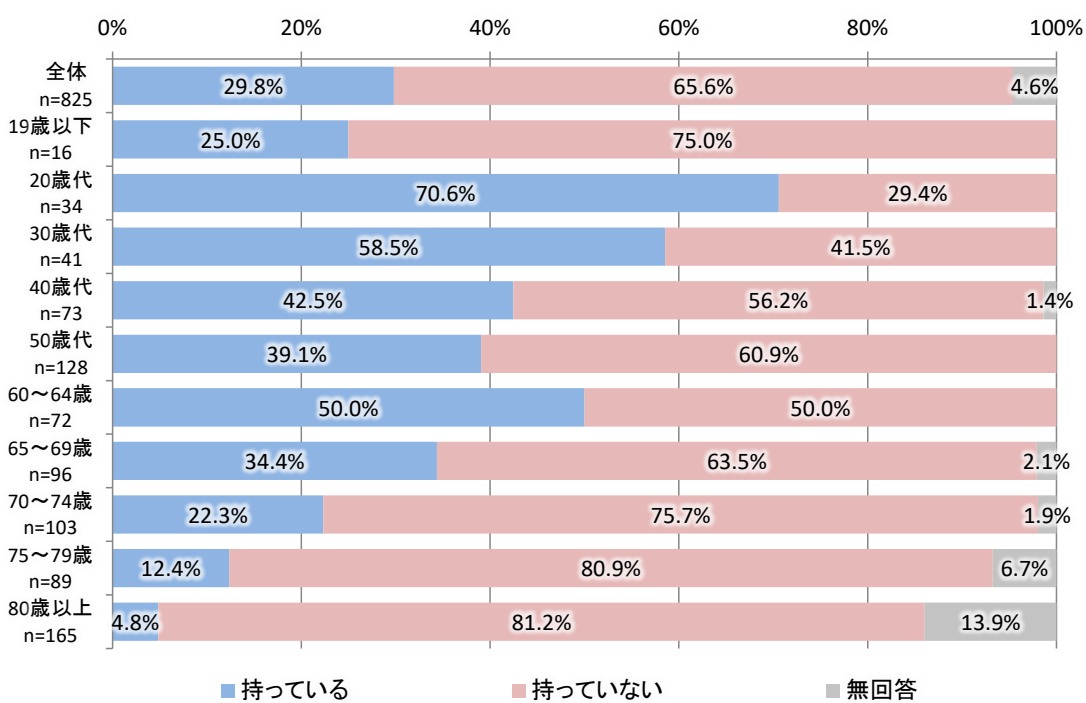


図 交通系ICカードの保有状況

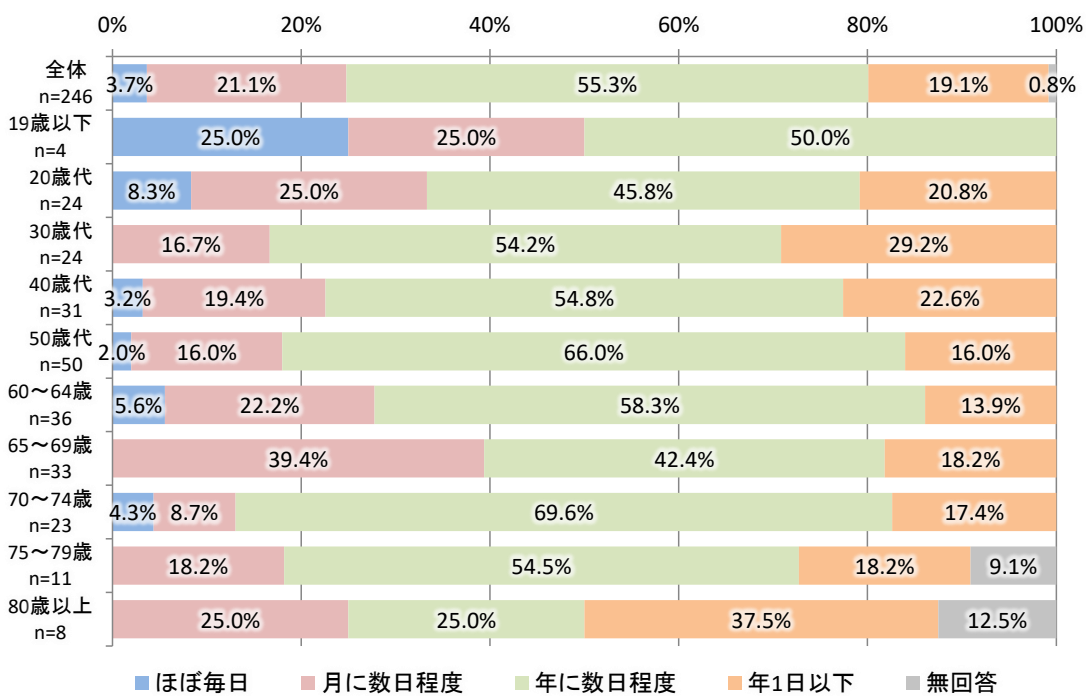


図 交通系ICカードの利用頻度

2. 日用品の買い物における外出状況

① 買い物先

- 町内の買い物先は、「セルバ市川三郷店」「ウエルシア」「コンビニエンスストア」が多い。
- 町外の買い物先は、「富士川町」「中央市」「南アルプス市」が多い。

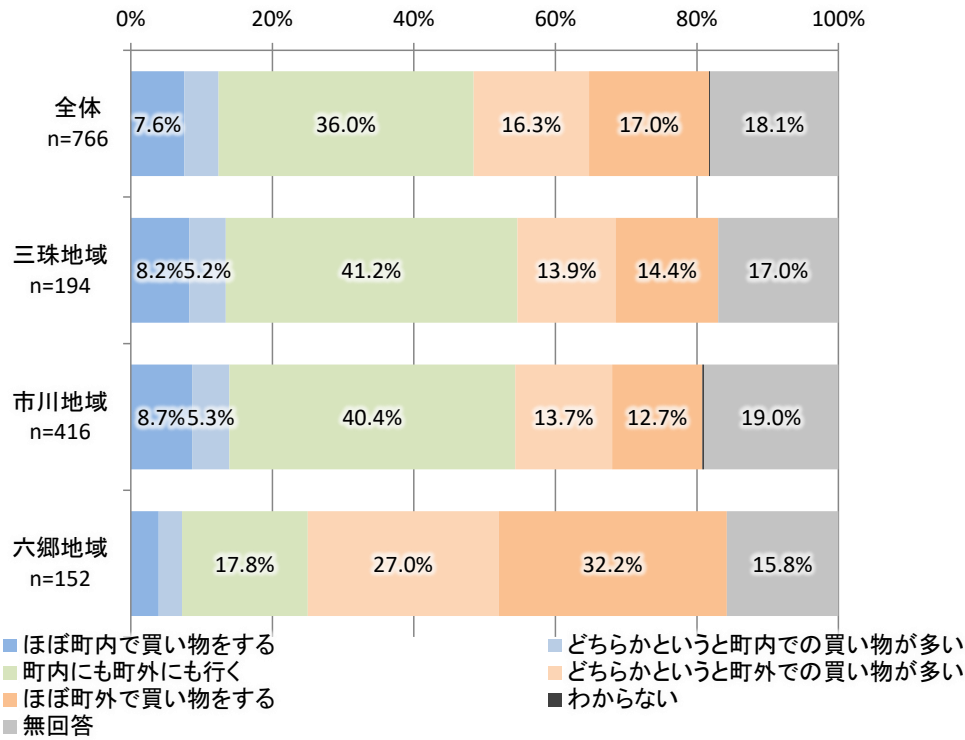


図 買い物先

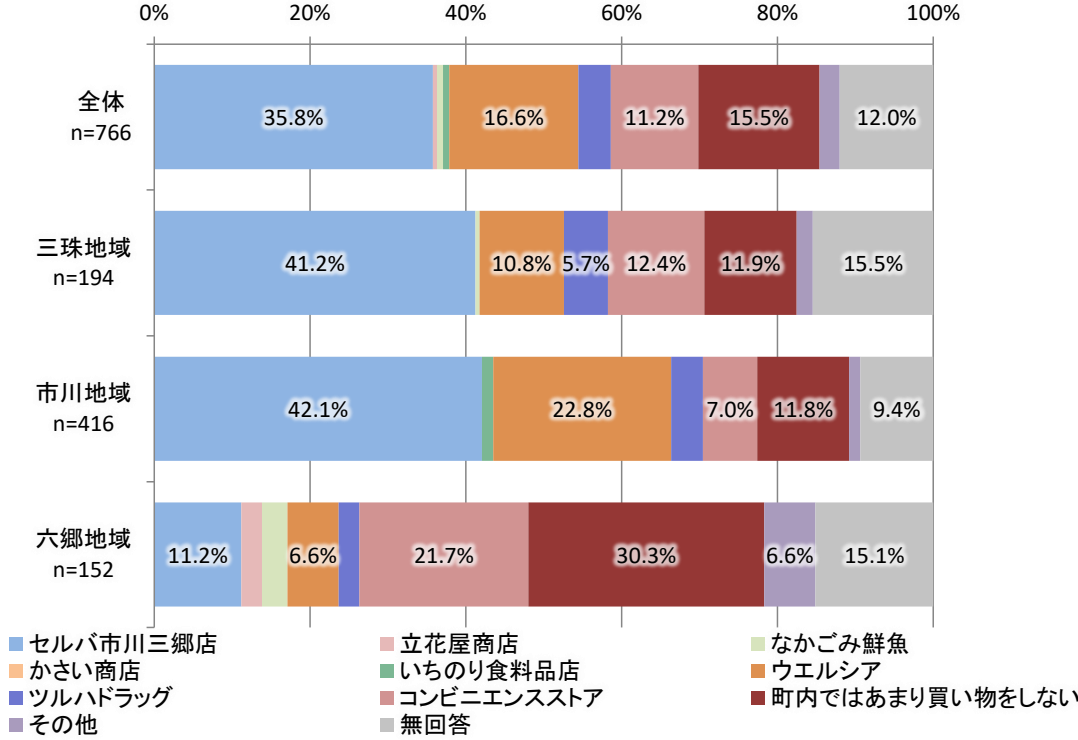


図 買い物先(町内)

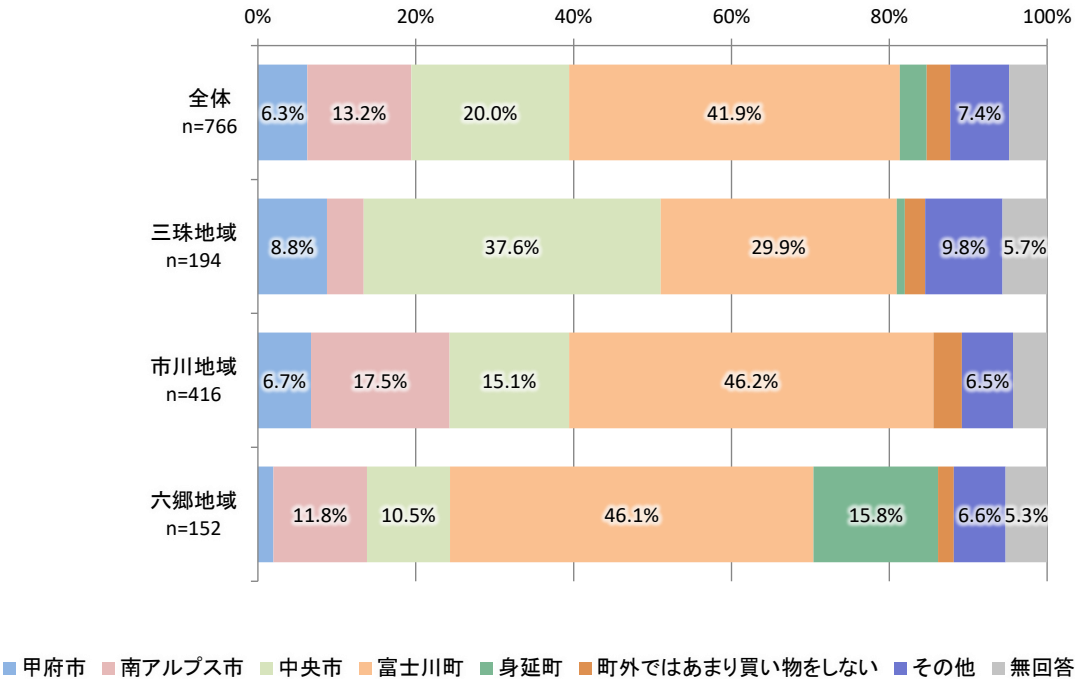


図 買い物先(町外)

② 買い物をする場面

- 買物を主目的に外出する方が多い一方で、通院や通勤のついでに買い物をしている人も多い。また、ネット通販などの利用も見られる。

表 買い物をする場面

	買い物をする場面や手段								
	買い物を主 な目的として 外出する	通院やその 他の外出の ついで	通勤・通学の 帰り道	宅配サービ スやネット通 販等を利用 する	家族・知人に 買ってきても らう	家族の買い 物に同行す る	その他	無回答	合計
全体 n=825	77.3%	38.7%	28.6%	20.7%	10.1%	27.0%	2.2%	2.3%	206.9%
三珠地域 n=207	75.8%	41.1%	32.9%	19.8%	9.7%	28.0%	1.0%	1.9%	210.1%
市川地域 n=450	77.1%	37.1%	26.7%	20.9%	11.1%	25.1%	2.4%	2.2%	202.7%
六郷地域 n=160	81.3%	41.3%	28.8%	21.3%	7.5%	30.6%	3.1%	1.3%	215.0%
無回答 n=8	50.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	37.5%	0.0%	37.5%	200.0%

③ 時間帯

- 出かける時間帯は、「10時台」「11時台」「15時台」が多い。
- 帰る時間帯は、「16時台」「12時台」「11時台」が多い。

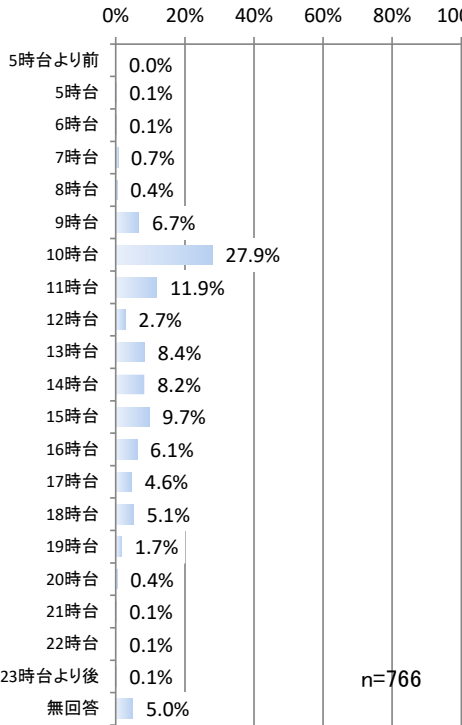


図 時間帯(行き)

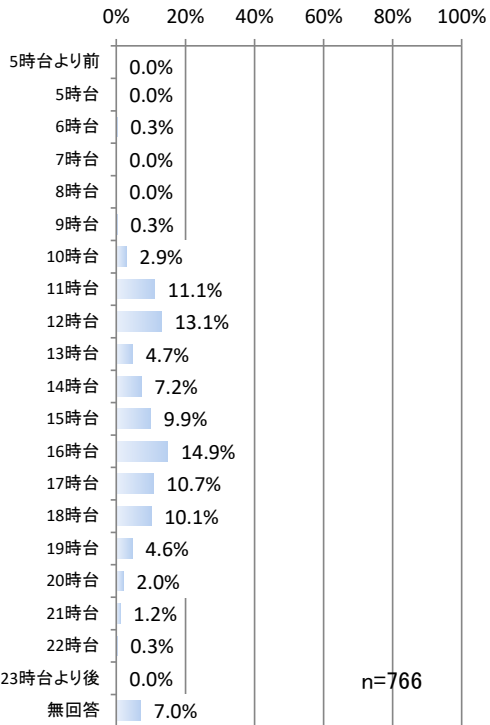


図 時間帯(帰り)

④ 交通手段

- 交通手段は、「自動車(自分で運転)」が多い。市川地域では、約1割が「徒歩」も回答している。

表 買い物に出かける交通手段

	買い物に出かける交通手段															
	徒歩	自転車	原付・バイク	自動車(自分 で運転)	自動車(家族 等の送迎)	JR身延線	町営コミュニ ティバス(三 珠線)	町営コミュニ ティバス(山 保線)	町営コミュニ ティバス(六 郷線)	町営コミュニ ティバス(六 郷循環線)	富士川町コ ミュニティバ ス	身延町コミュ ニティバス	タクシー	その他	無回答	合計
全体 n=766	9.4%	7.4%	1.4%	79.8%	21.3%	4.2%	0.3%	0.3%	0.7%	0.3%	0.1%	0.0%	1.0%	0.9%	0.1%	127.2%
三珠地域 n=194	5.7%	5.7%	0.0%	82.0%	21.6%	5.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	121.1%
市川地域 n=416	12.5%	9.4%	1.7%	79.1%	20.2%	3.8%	0.2%	0.5%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	130.8%
六郷地域 n=152	5.9%	4.6%	2.6%	78.9%	23.0%	3.9%	0.0%	0.0%	2.6%	0.7%	0.7%	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	125.0%
無回答 n=4	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	125.0%

2. 通院における外出状況

① 通院先

- 町内の通院先は、「市川三郷病院」「市川メディカルクリニック」「溝部医院」が多い。
- 町外の通院先は、「中央市」「富士川病院」「甲府市」が多い。

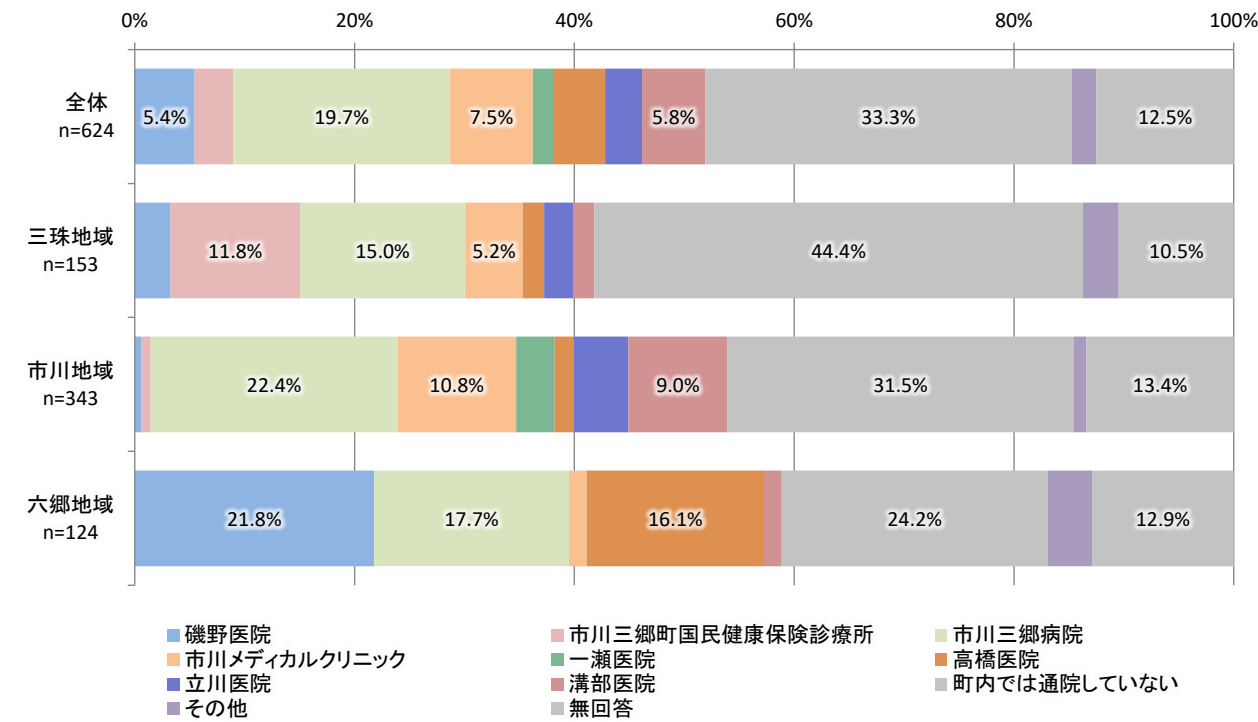


図 町内の通院先

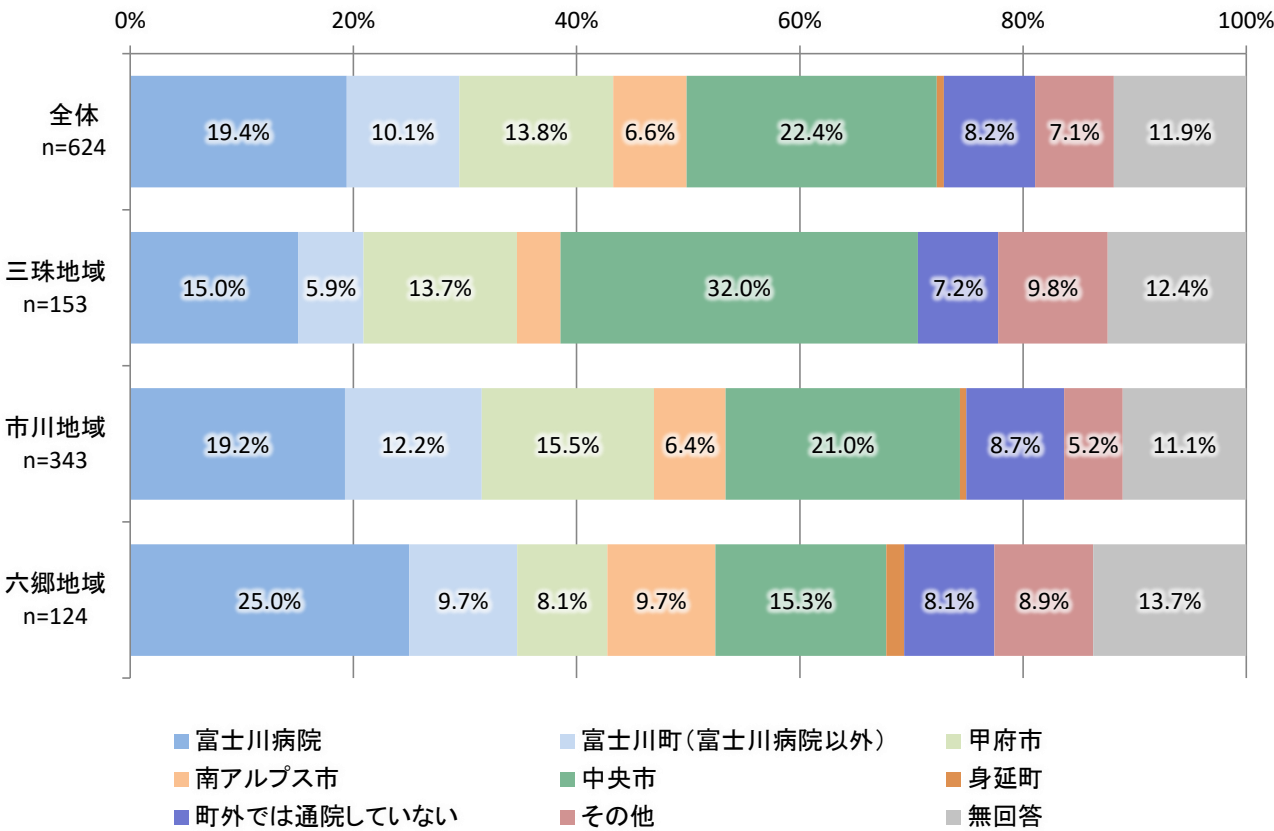


図 町外の通院先

② 時間帯

- 出かける時間帯は、「9時台」「10時台」「8時台」が多い。
- 帰る時間帯は、「11時台」「12時台」「10時台」が多い。

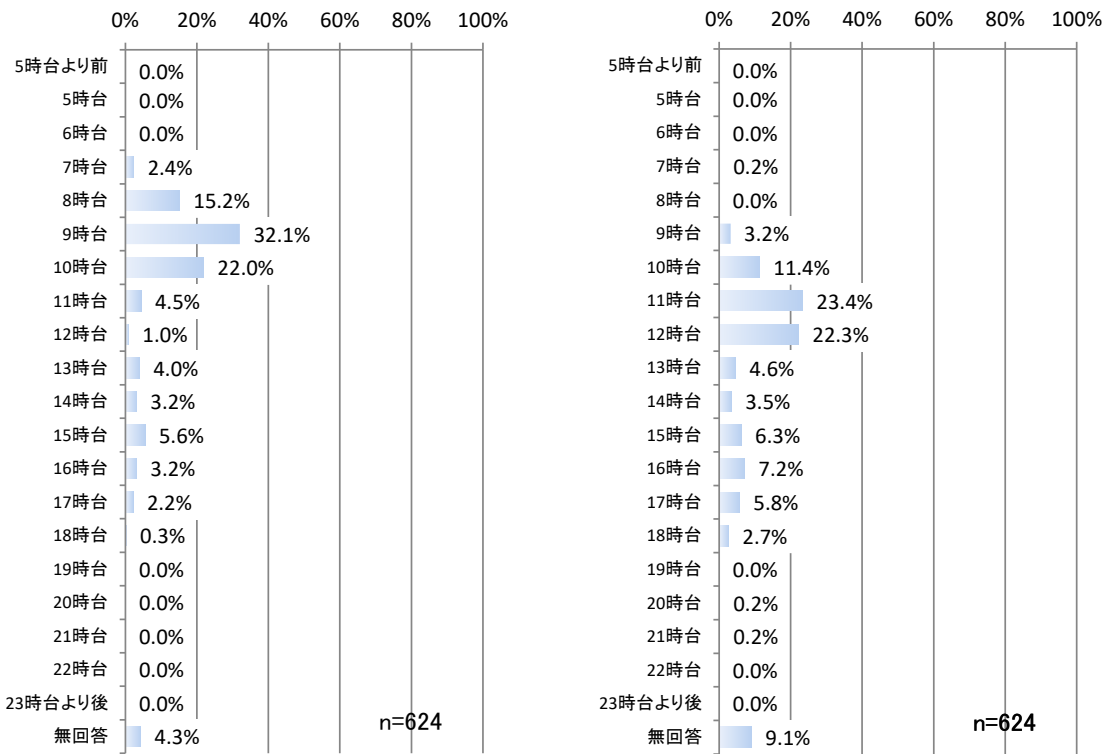


図 通院に出かける時間帯

図 通院から帰る時間帯

③ 交通手段

- 交通手段は、「自動車(自分で運転)」「自動車(家族等の送迎)」「徒歩」が多い。

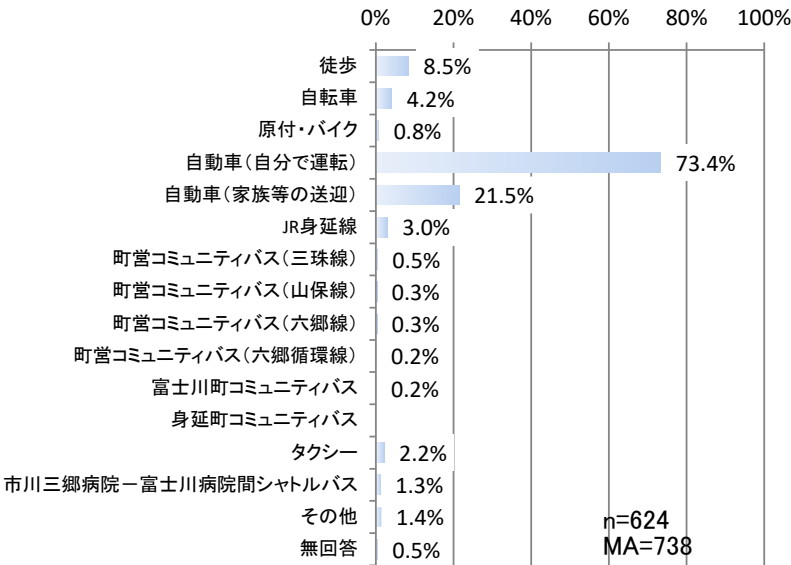


図 通院に出かける交通手段

3. 通勤・通学における外出状況

① 通勤・通学の状況と通勤・通学先

- 通勤・通学の状況は、「通勤」「通勤・通学していない」がほぼ同率である。
- 通勤・通学先は、「市川三郷町内」「甲府市」「富士川町」が多い。

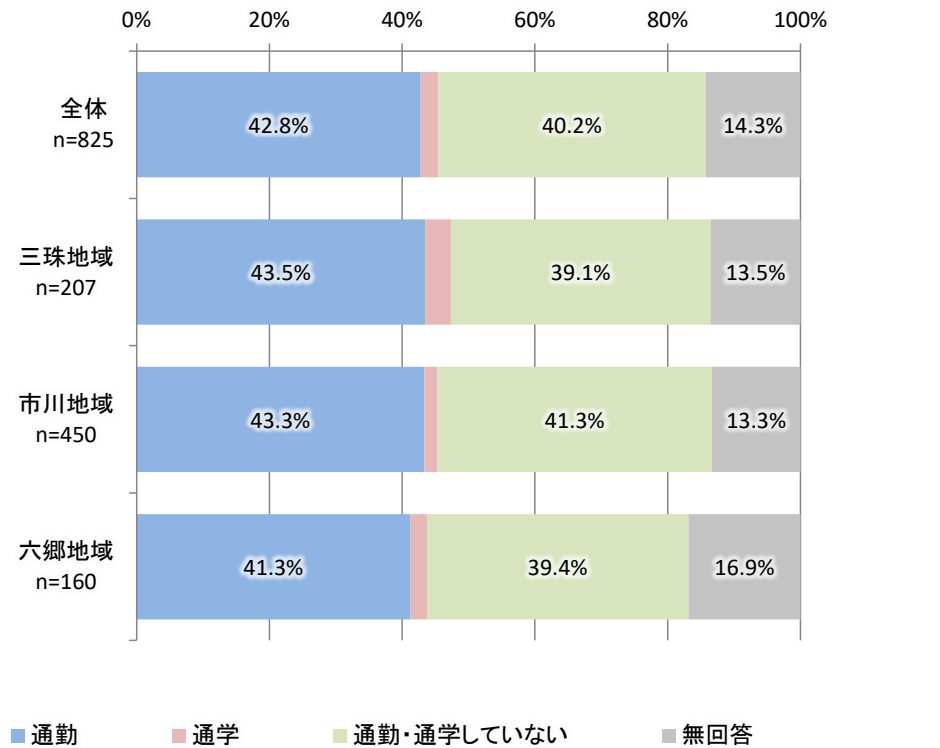


図 通勤・通学の状況

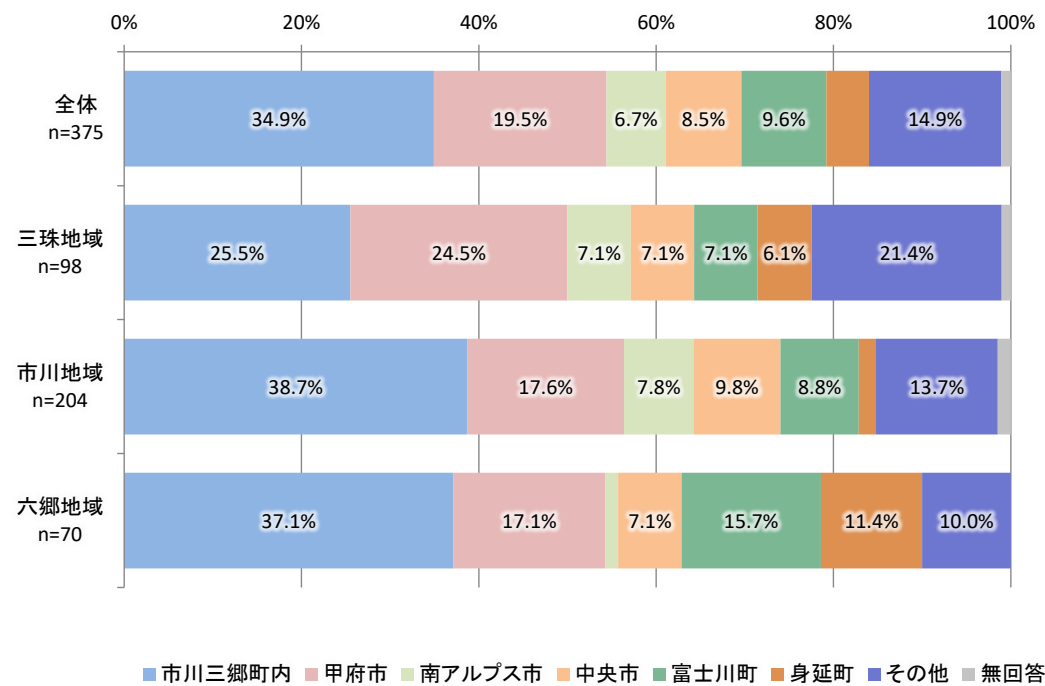


図 通勤・通学先

② 時間帯

- 出かける時間帯は、「7時台」「8時台」「6時台」が多い。
- 帰る時間帯は、「18時台」「17時台」「16時台」が多い。

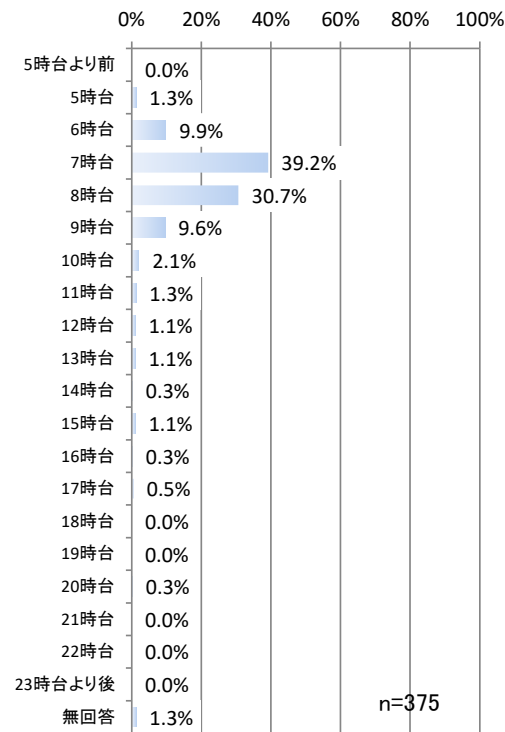


図 通勤・通学に出かける時間帯

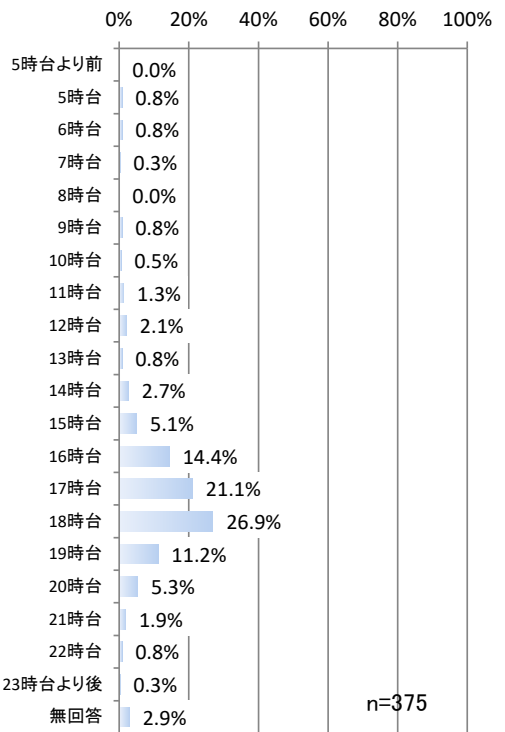


図 通勤・通学から帰る時間帯

③ 交通手段

- 交通手段は、「自動車(自分で運転)」が多く、約9割を占めている。

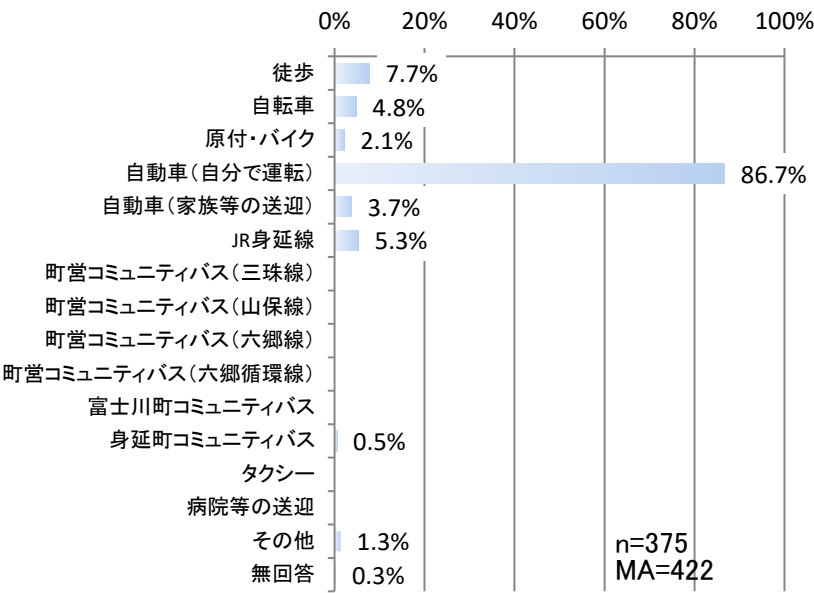


図 通勤・通学に出かける交通手段

4. JR身延線について

① 利用頻度

- 利用頻度は、「年に数日」「月に数日」が多い。

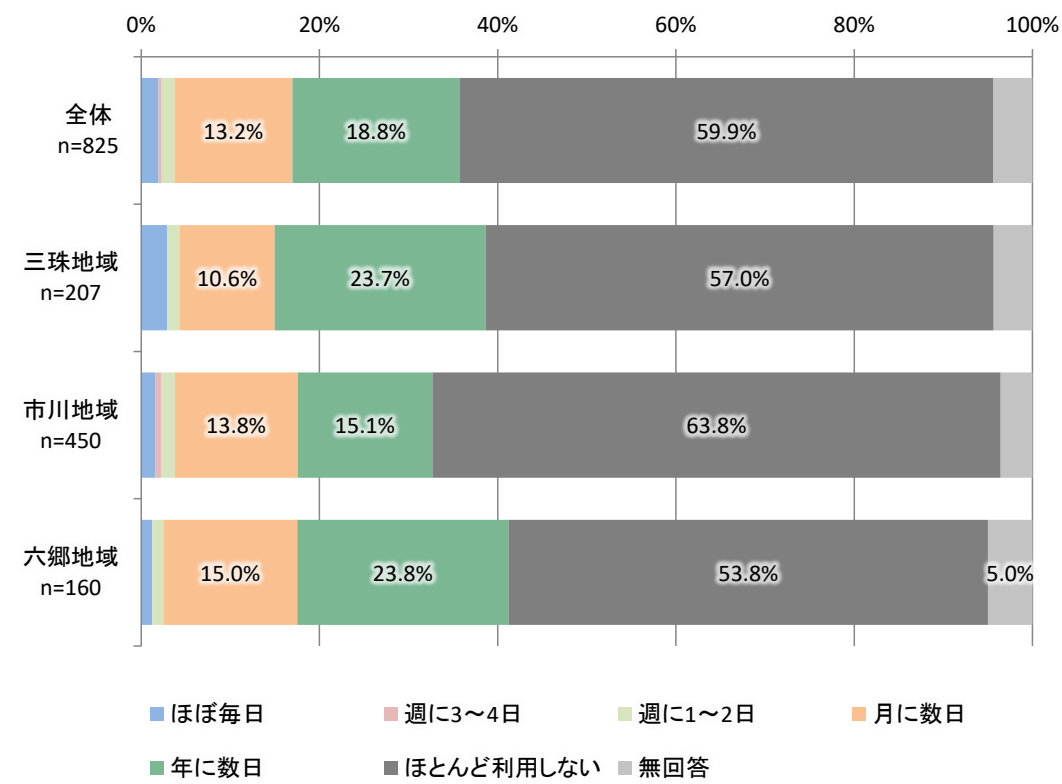


図 利用頻度

② 利用駅

- 利用駅は、「市川大門駅」「市川本町駅」「芦川駅」が多い。

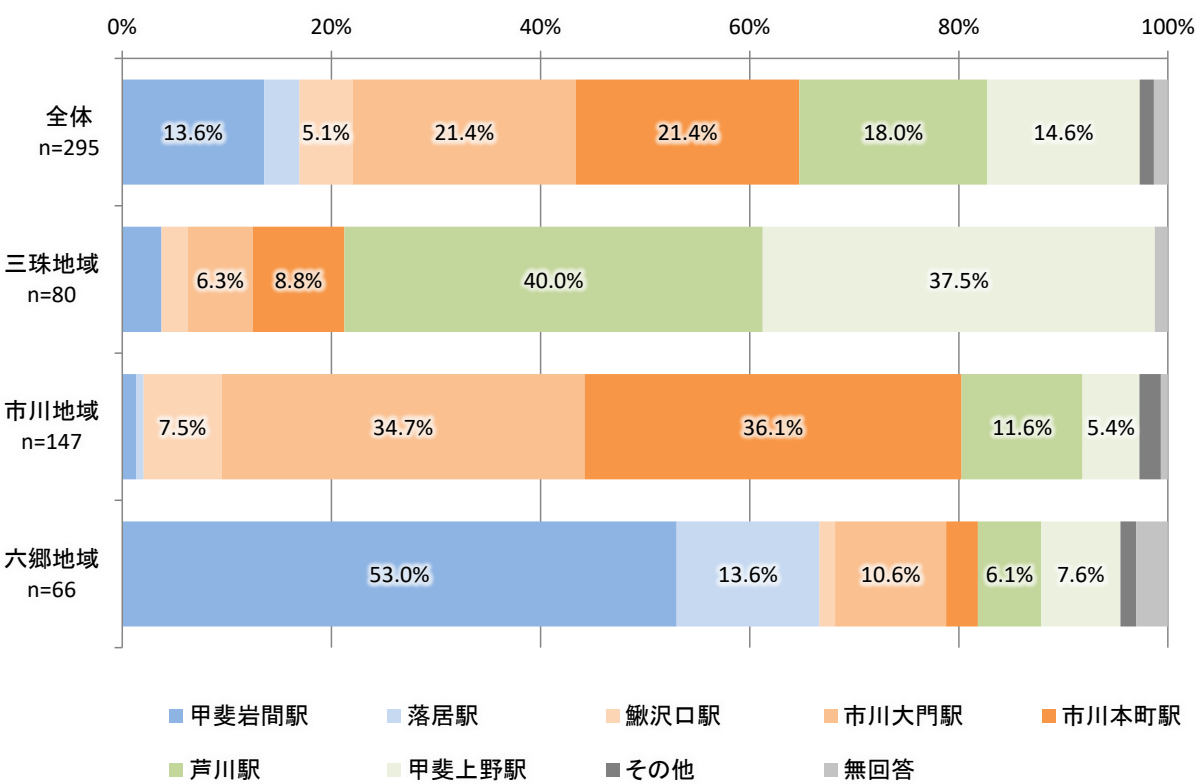


図 利用駅

③ 利用目的

- 利用時の外出先は、「町外」が8割以上を占めている。
- 利用目的は、「飲食」「レジャー」「買い物(日用品)」が多い。

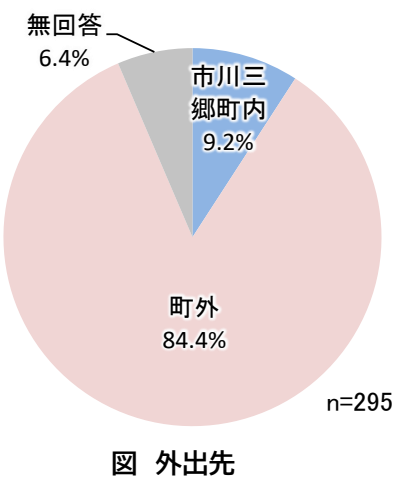


図 外出先

表 鉄道利用時の外出目的

	鉄道利用時の外出目的											合計
	通勤	通学	通院	買い物(日用品)	買い物(衣服や家電等)	飲食	地域の集まりなど	レジャー	温浴	その他	無回答	
全体 n=295	6.8%	4.7%	10.8%	11.5%	10.8%	29.2%	3.4%	26.4%	1.0%	24.4%	3.7%	132.9%
三珠地域 n=80	5.0%	6.3%	8.8%	7.5%	8.8%	26.3%	1.3%	22.5%	2.5%	28.8%	5.0%	122.5%
市川地域 n=147	7.5%	4.1%	7.5%	10.2%	10.9%	30.6%	4.8%	26.5%	0.7%	26.5%	3.4%	132.7%
六郷地域 n=66	6.1%	4.5%	21.2%	19.7%	13.6%	30.3%	3.0%	30.3%	0.0%	15.2%	3.0%	147.0%

5. 町営コミュニティバスについて

① 利用状況・認知状況

- 運行内容等の認知状況は、「町営コミュニティバスのことをよく知らない」が全地域で半数を占めている。次いで、「運行内容(運行ルートや運行している時間帯)を知っているが、利用していない」が多い。
- 最寄りバス停の認知状況は、「バス停があるかどうか分からない」「バス停があることはわかるが、バス停名はわからない」が多い。

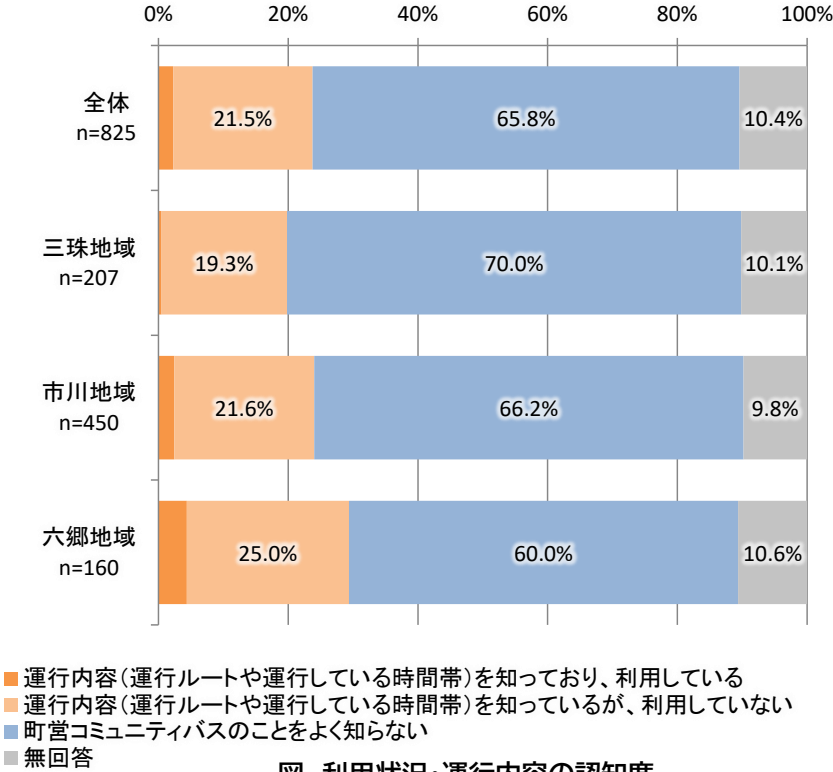


図 利用状況・運行内容の認知度

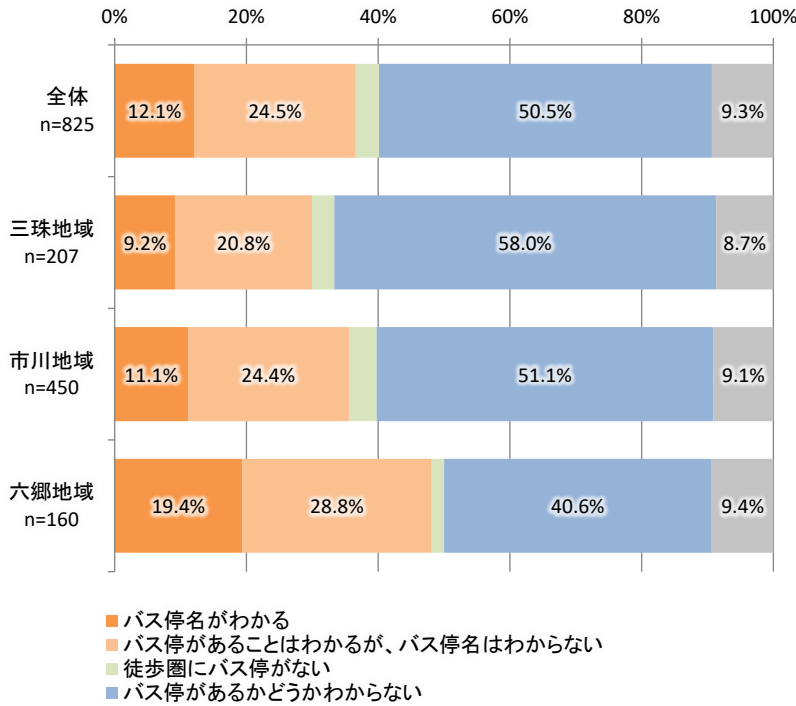


図 最寄りバス停の認知度

② 満足度

- 満足度が高い項目は、「運賃設定、割引制度」「自宅～バス停間の距離」「バス停の快適さ」が多い。
- 満足度が低い項目は、「早朝時間帯の運行台数」「最終便の時間」「日中時間帯の運行台数」が多い。

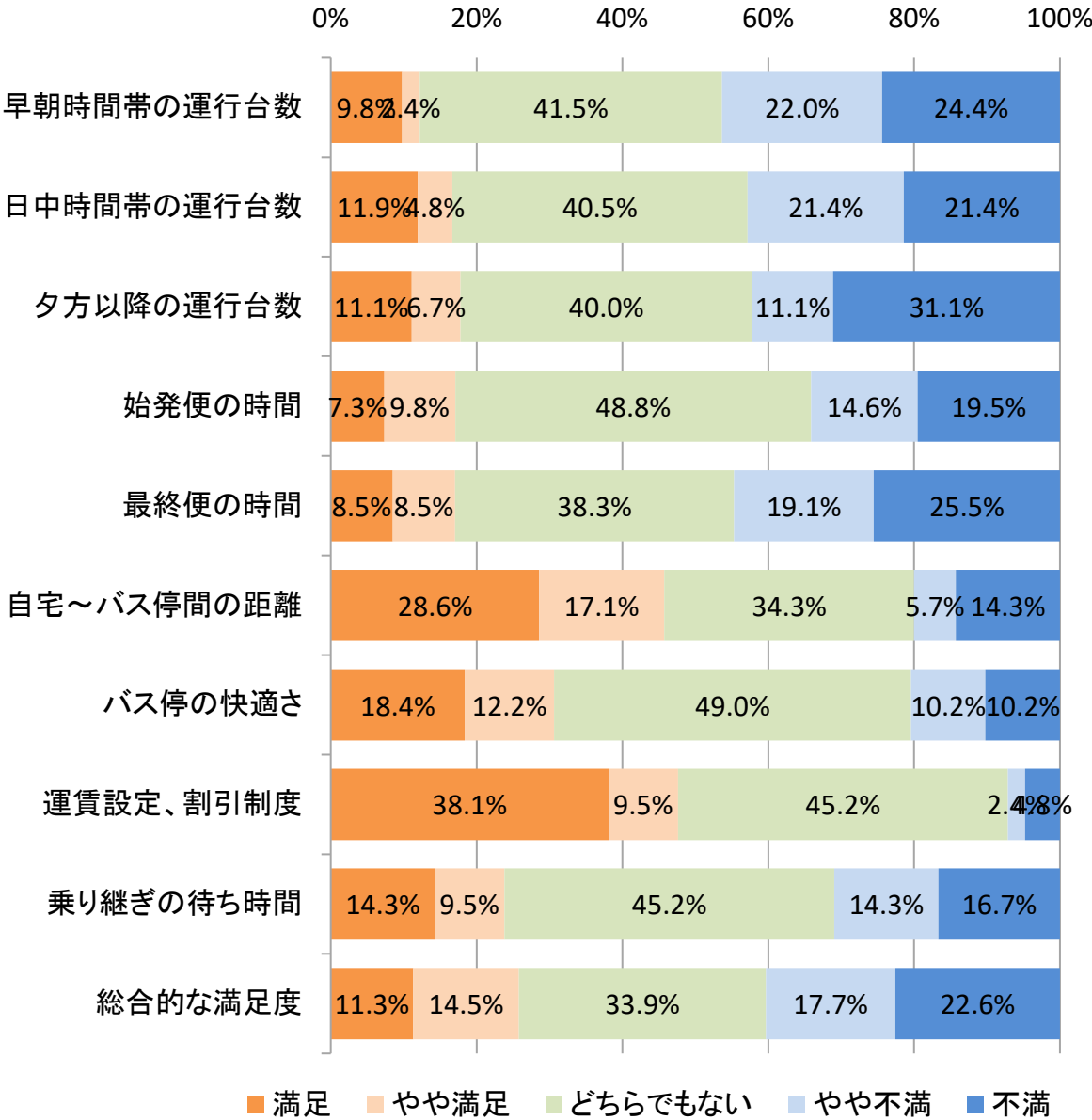


図 町営コミュニティバスの満足度

6. タクシーについて

① 利用状況

- 利用頻度は、「ほとんど利用しない」が8割以上である。
- 利用目的は、「通院」「飲食」「買い物(日用品)」が多い。

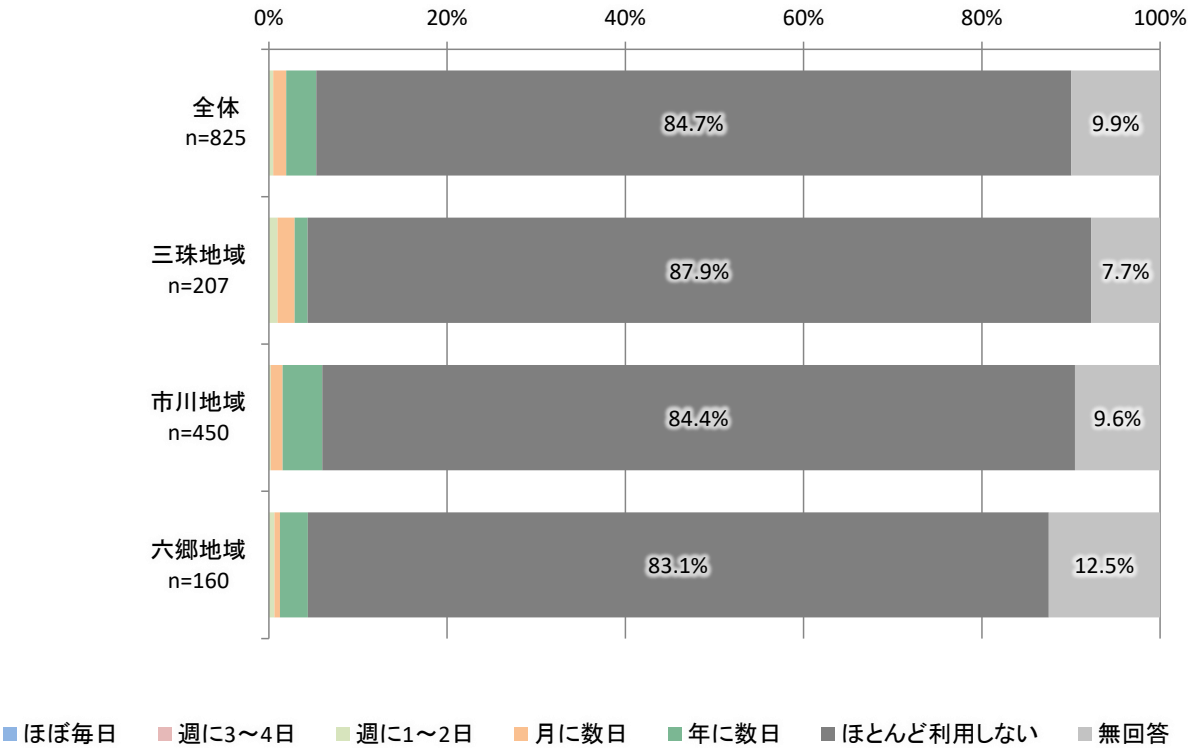


図 タクシーの利用頻度

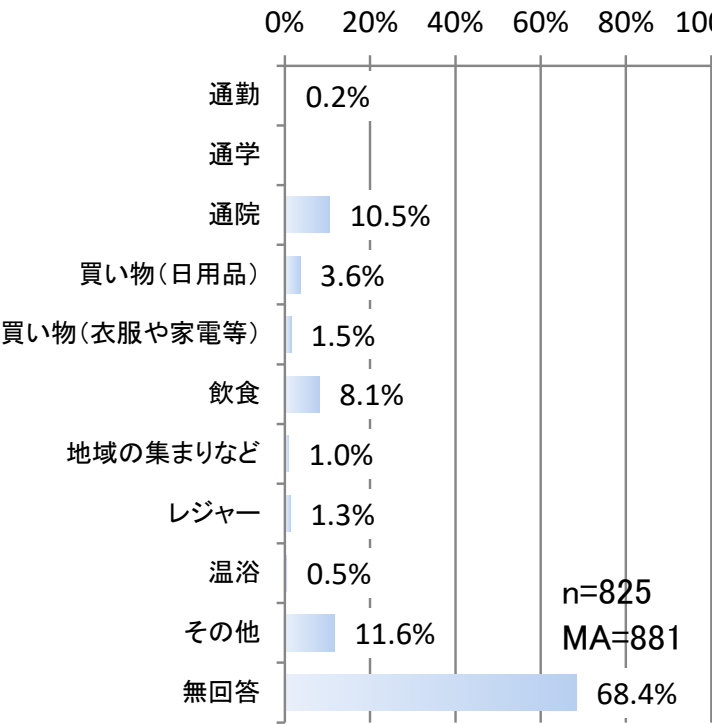


図 利用目的

② 満足度

- 満足度が高い項目は、「予約の取りやすさ」「割引制度」「早朝時間帯の運行台数」が多い。
- 満足度が低い項目は、「夜間の運行台数」「総合的な満足度」「夕方以降の運行台数」が多い。

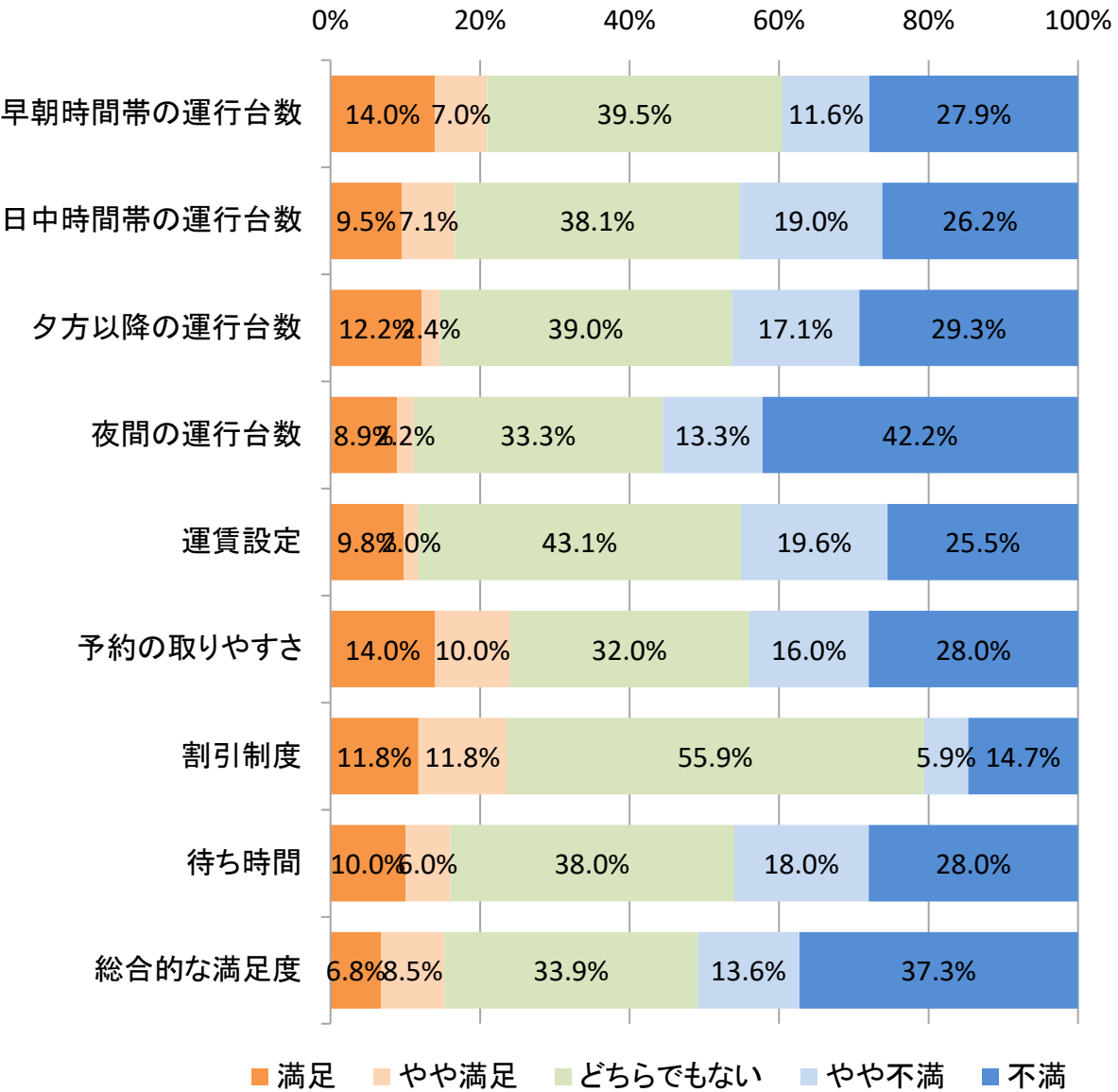


図 満足度

7. 公共交通全般に対する意見・要望

① デマンド交通の利用意向

- 利用意向は、「利用したいとは思わない」「片道100円なら利用したい」「片道300円以上でも利用したい」が多い。
- 利用頻度は、「週に1～2日」「年に数日」「月に数日」が多い。
- 利用目的は、「買い物(日用品)」「通院」「飲食」が多い。

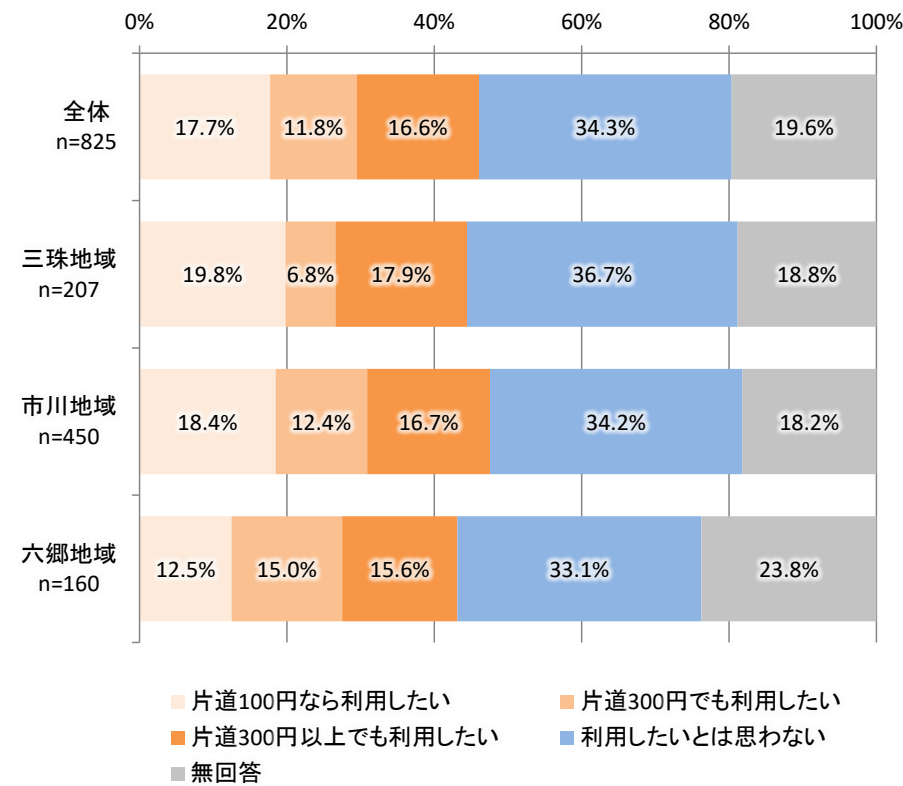


図 デマンド交通が導入された場合の利用意向

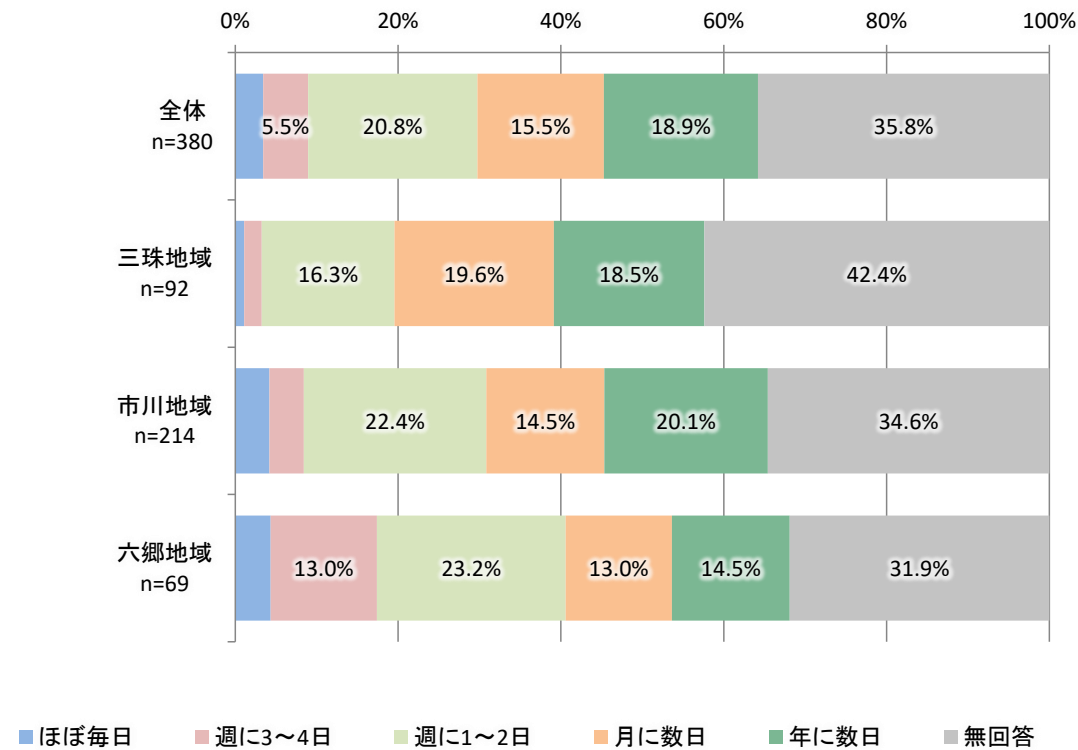


図 デマンド交通が導入された場合の利用頻度

表 デマンド交通が導入された場合の利用目的

	デマンド交通利用時に想定される外出目的										
	通勤	通学	通院	買い物(日用品)	買い物(衣服や家電等)	飲食	地域の集まりなど	レジャー	温浴	その他	無回答
全体 n=380	2.6%	1.6%	37.9%	38.4%	15.3%	17.9%	6.8%	6.3%	7.9%	1.8%	33.7%
三珠地域 n=92	5.4%	0.0%	31.5%	33.7%	9.8%	16.3%	5.4%	3.3%	5.4%	2.2%	42.4%
市川地域 n=214	1.9%	2.3%	39.7%	38.3%	16.4%	16.4%	6.1%	6.1%	8.4%	2.3%	31.8%
六郷地域 n=69	1.4%	1.4%	39.1%	44.9%	20.3%	23.2%	10.1%	8.7%	8.7%	0.0%	29.0%
無回答 n=5	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%

7. 公共交通全般に対する意見・要望

② 地域協働型交通(ライドシェアなど)の利用意向

- 利用意向は、「どちらとも言えない」「利用したくない」「利用したい」が多い。
- 利用頻度は、「月に数日」「年に数日」「週に1～2日」が多い。
- 地域ドライバーとしての意向は、「活動したくない」が全地域6割以上占めており、一番多い。また、「報酬があるなら活動したい」と意向を示した回答者は全体で約1割である。
- 利用目的は、「通院」「買い物(日用品)」「飲食」が多い。

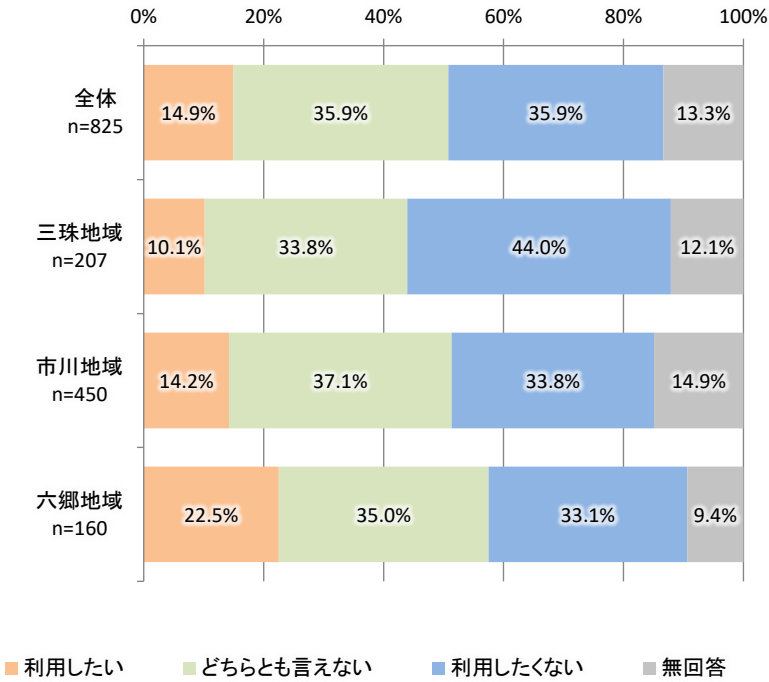


図 地域協働型交通が導入された場合の利用意向

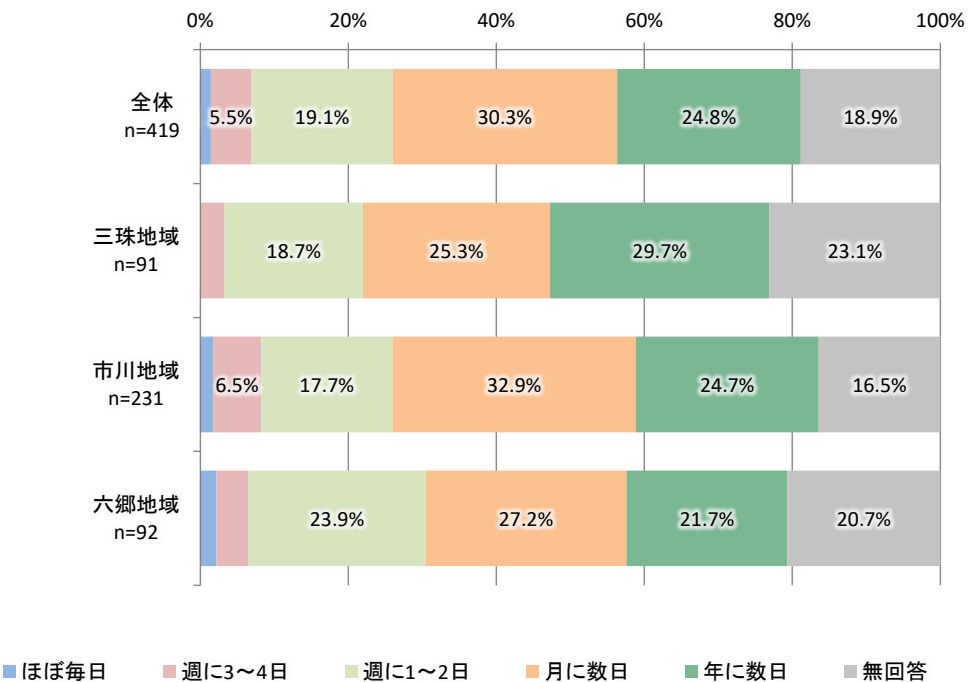


図 地域協働型交通が導入された場合の利用頻度

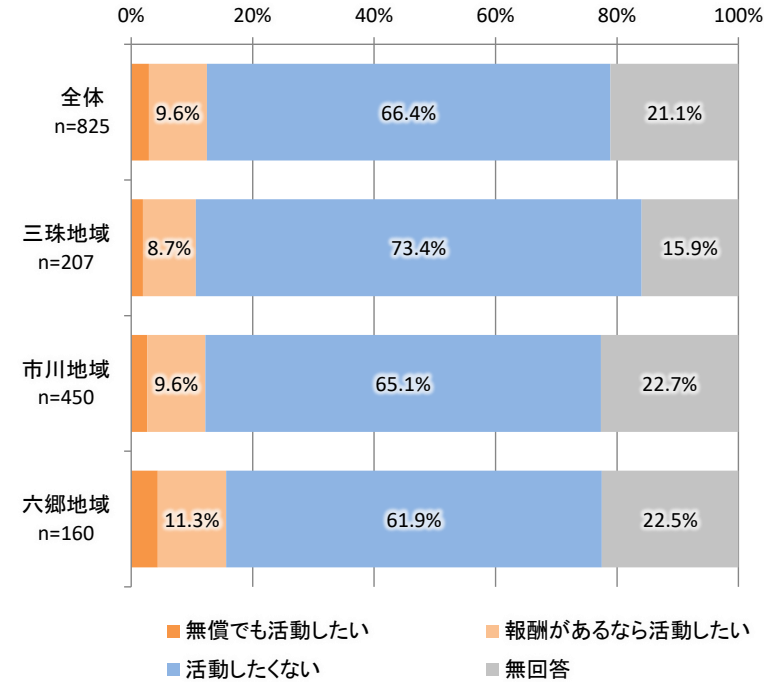


図 地域ドライバーとしての意向

表 地域協働型交通が導入された場合の利用目的

	ライドシェア等利用時の想定される外出目的										
	通勤	通学	通院	買い物(日用品)	買い物(衣服や家電等)	飲食	地域の集まりなど	レジャー	温浴	その他	無回答
全体 n=419	1.4%	1.2%	43.4%	42.7%	18.6%	25.8%	8.8%	6.7%	8.8%	2.9%	15.0%
三珠地域 n=91	1.1%	1.1%	42.9%	36.3%	15.4%	27.5%	9.9%	3.3%	7.7%	1.1%	24.2%
市川地域 n=231	1.3%	0.9%	43.7%	42.0%	19.0%	22.9%	7.8%	7.8%	9.5%	3.9%	11.7%
六郷地域 n=92	2.2%	2.2%	42.4%	51.1%	21.7%	30.4%	9.8%	5.4%	7.6%	2.2%	14.1%

7. 公共交通全般に対する意見・要望

③ 公共交通に対する町の財政負担について

- 町の財政負担についての考えとしては、「公共サービスが充実するものであれば、財政負担の増加は仕方がない」が一番多い意見となった。次いで、「財政負担・交通サービス水準ともに現状のままでよい」「公共交通サービスを縮小して、財政負担を減少させた方がよい」が多い。

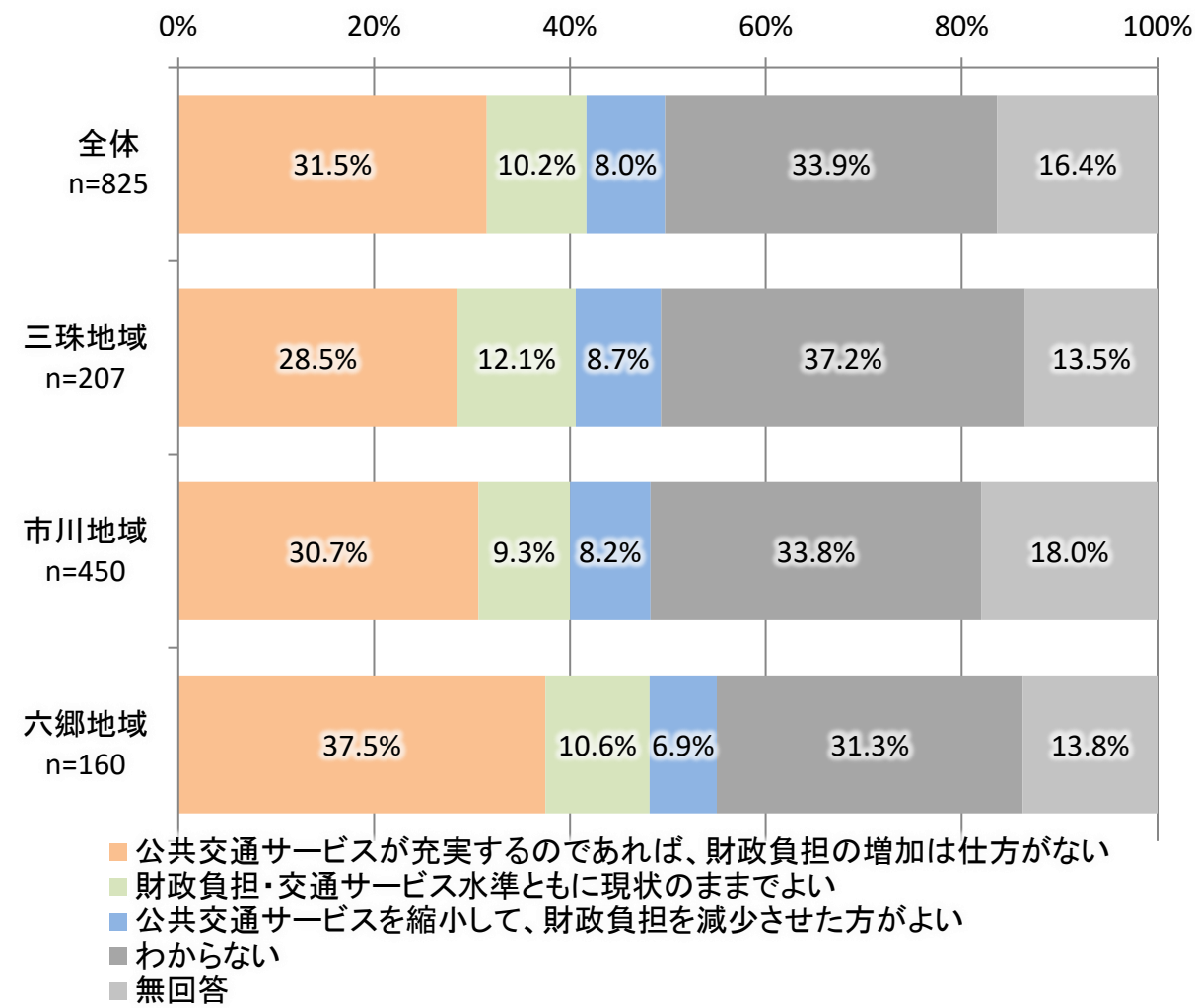


図 公共交通に対する町の財政負担について

中高生アンケート調査 結果概要

■調査概要

調査対象者	町内中学校・高等学校に通う生徒(計1,074人) (三珠中学校、市川中学校、市川南中学校、六郷中学校)青洲高校
調査方法	WEB回答・WEB回収
調査時期	令和6年12月2日(月)～12月20日(金) ※各校にて順次実施
調査項目	・回答者の属性 ・通学状況について ・公共交通の利用状況 など
回収状況	回収票数:863票 回収率:80.4%

■調査結果

1. 公共交通の利用状況

① 通学手段

- 普段の通学手段は、「徒歩」「自転車」「自動車(家族の送迎)」が多い。
- 通学で公共交通を利用しない理由は、「徒歩や自転車で行けるため」「家の近くに停留所がない」「バスの運行内容を知らない」が多い。

表 普段の通学手段(晴れ・曇りの時)

	晴れ・曇りの日の主な通学手段										
	徒歩	自転車	原付・バイク	自動車(家族の送迎)	自動車(知人・友人の送迎)	JR身延線	町営コミュニティバス(三珠線)	町営コミュニティバス(山保線)	町営コミュニティバス(六郷線)	町営コミュニティバス(六郷循環線)	富士川町コミュニティバス
全体 n=863	35.6%	35.0%	13.7%	34.4%	2.1%	24.3%	0.0%	0.5%	0.1%	0.2%	2.5%
三珠中学校 n=59	78.0%	16.9%	0.0%	18.6%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
市川中学校 n=119	89.9%	3.4%	0.0%	25.2%	4.2%	1.7%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
市川南中学校 n=9	55.6%	11.1%	0.0%	66.7%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
六郷中学校 n=18	77.8%	5.6%	0.0%	22.2%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
青洲高等学校 n=657	20.5%	43.5%	18.0%	37.4%	1.5%	31.4%	0.0%	0.2%	0.2%	0.3%	3.3%
無回答 n=1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 通学で公共交通を利用しない理由

	通学でバスを利用しない理由											
	家の近くに停留所がない	家を出る時間帯のバスがない	帰ってくる時間帯のバスがない	乗り換えアプリ等で検索しにくい	運賃が高い	他の移動手段よりも時間がかかる	遅延が生じる可能性があるため	利用方法が分かりにくい	バスの運行内容を知らない	徒歩や自転車で行けるため	その他	無回答
全体 n=863	24.1%	13.4%	10.8%	3.0%	8.8%	12.5%	2.2%	10.4%	15.1%	37.4%	7.2%	18.8%
三珠中学校 n=59	32.2%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	6.8%	16.9%	81.4%	0.0%	6.8%
市川中学校 n=119	21.8%	5.9%	3.4%	1.7%	9.2%	6.7%	3.4%	8.4%	9.2%	62.2%	5.9%	20.2%
市川南中学校 n=9	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%	44.4%
六郷中学校 n=18	22.2%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	16.7%	16.7%	44.4%	0.0%	33.3%
青洲高等学校 n=657	23.9%	16.0%	13.2%	3.3%	9.7%	14.8%	2.3%	11.0%	16.0%	28.9%	8.4%	18.7%
無回答 n=1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

2. 公共交通の充実による効果

① 進路選択への影響

- 卒業後の進路を考えるにあたって、公共交通での通いやすさを重視する人は、全体の約7割で、約2割の回答者は重視しないと回答している。また特に重視するポイントでは「学校、職場までの鉄道やバスの運行本数の多さ」が一番多い。
- 公共交通の利便性向上によって、進路の選択肢が増える则认为る人は、約5割で、約2割の回答者は進路の選択肢に触れていない。また公共交通のメリットとして共感できるものでは「悪天候時も快適に移動ができる」が一番多い。

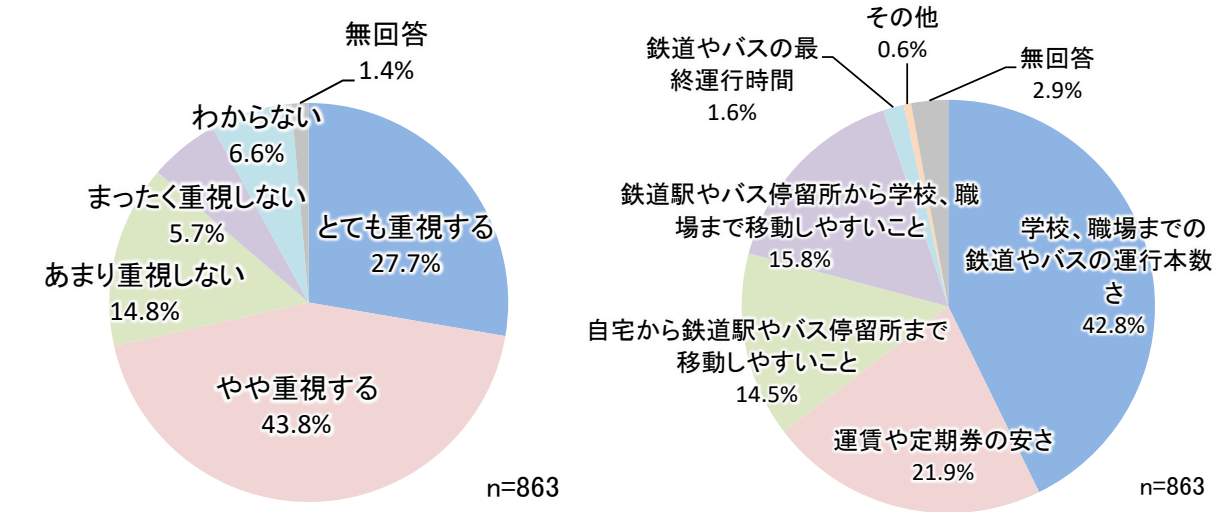


図 進路選択時の公共交通での通いやすさを重視するか

図 特に重視するポイント

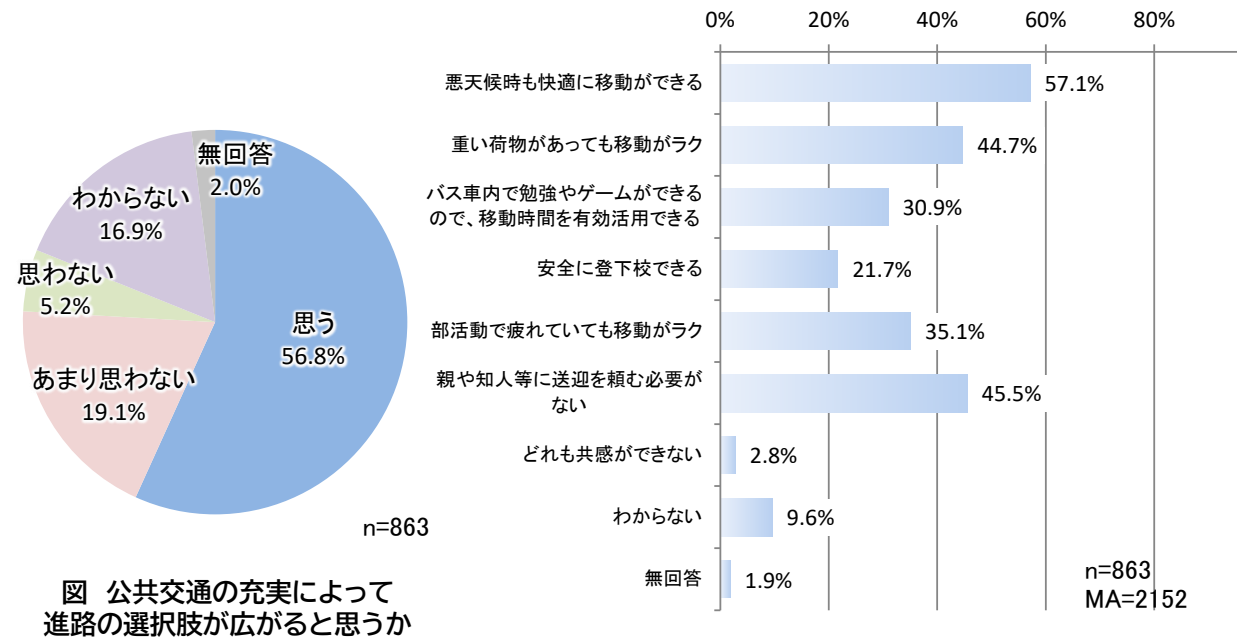


図 公共交通を利用するメリットとして共感できるもの

町営コミュニティバス利用者アンケート調査 結果概要

■調査概要

調査対象者	町営コミュニティバスの利用者
調査方法	調査票を車内に留め置きし、郵送回収
調査時期	留め置き調査: 令和7年1月6日(月)～1月17日(金) 回答〆切: 1月24日(金)
調査項目	・回答者の属性 ・町営コミュニティバスの利用状況 ・町営コミュニティバスの満足度 など
回収状況	回収票数: 28票

■調査結果

1. 回答者の属性

① 性別、年代

- 性別は、女性が約8割、男性が約2割である。
- 年代は、30代～80歳以上まで幅広い年代からの回答があった。

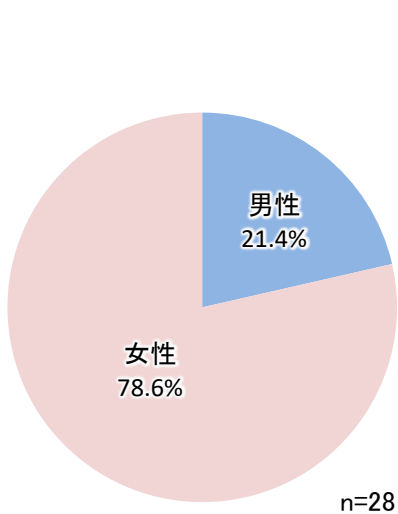


図 性別

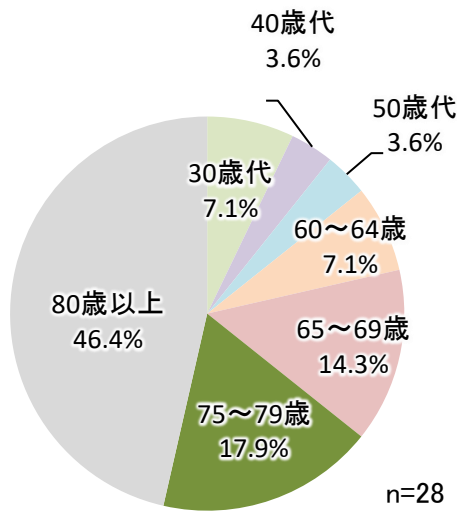


図 年代

② 自宅から1つ目に利用するバス停までの距離

- 自宅から1つ目に利用するバス停までの距離は、「100m以内(徒歩1分程度)」「201～300m(徒歩3～4分)」が多い。

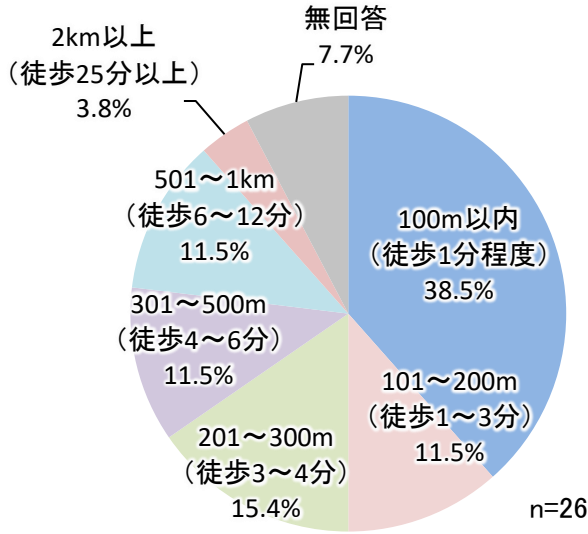


図 自宅から1つ目に利用するバス停までの距離

③ 自動車の運転について

- 運転免許の保有状況は、「もともと持っていない(失効等を含む)」を約6割の回答者が示しており、次いで「返納した」「持っている」が多い。
- 普段の運転頻度は、「ほぼ毎日」「週に3～4日」「ほとんど運転しない」同率である。

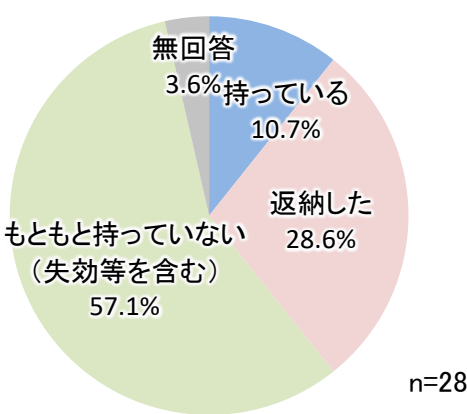


図 運転免許の保有状況

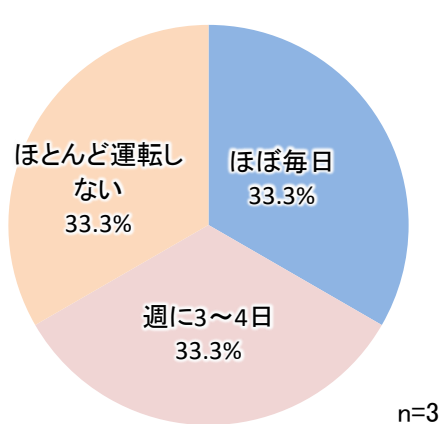


図 普段の運転頻度

④ デジタル技術の利用状況

- スマートフォンの利用状況は、「スマートフォンを持っていない」「ほとんど使わない」が半数を占めている。利用している方は2割未満である。
- 交通系ICの保有状況は、約8割の回答者が「持っていない」と回答している。
- 利用したことがある決済方法は、「電子マネー」「クレジットカードのタッチ決済」である。

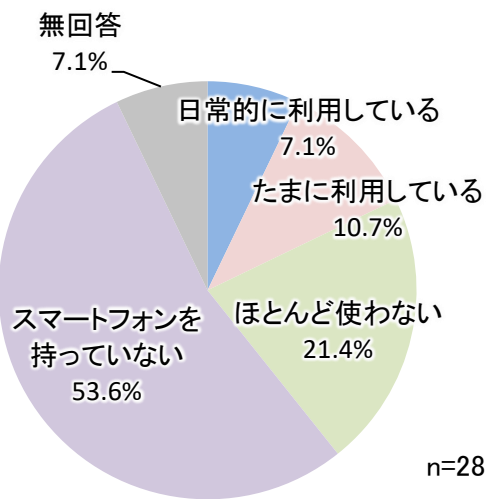


図 スマートフォンの利用状況

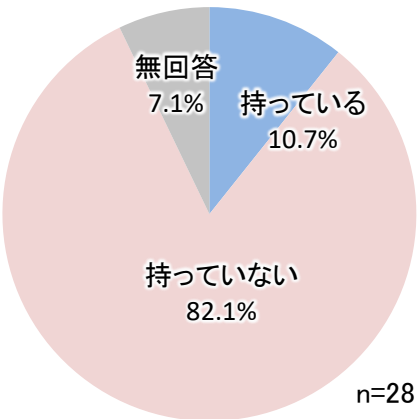


図 交通系ICの保有状況

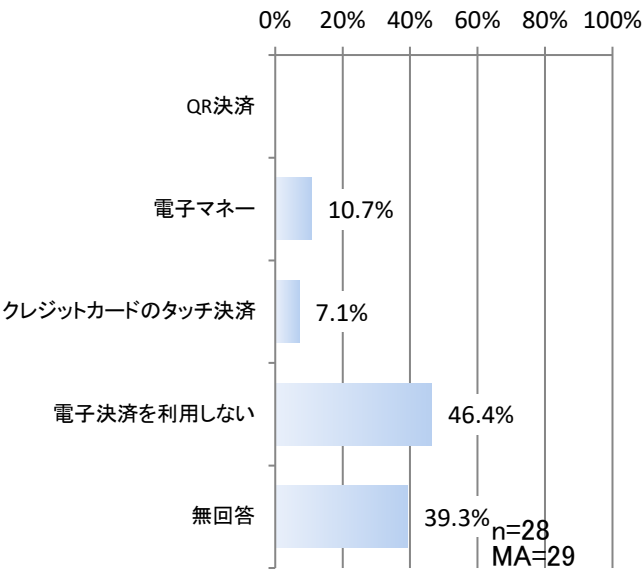


図 電子決済の利用状況

2. 町営バスの利用状況

① 利用する路線、往復利用有無

- 利用する路線は、「山保線」「三珠線」「六郷線」「六郷循環線」の順に多い。
- 往復で利用する割合は、全体の約6割である。

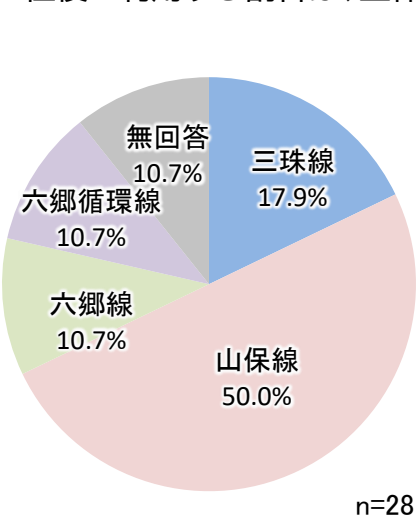


図 利用路線

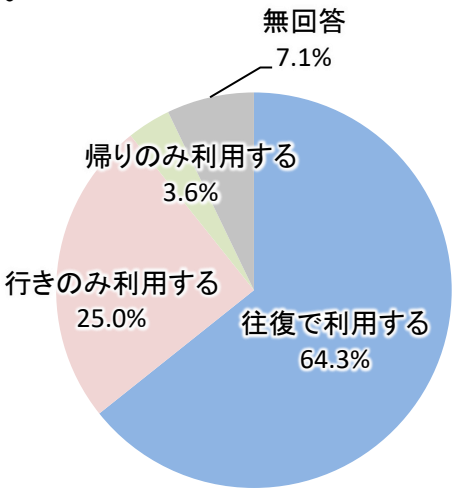


図 往復利用の有無

② 利用目的・利用頻度

- 利用目的は、「通院」「買い物(日用品)」「買い物(衣類や家電等)」が多い。
- 利用頻度は「月に数日」「週に2～3日」「年に数日」が多い。

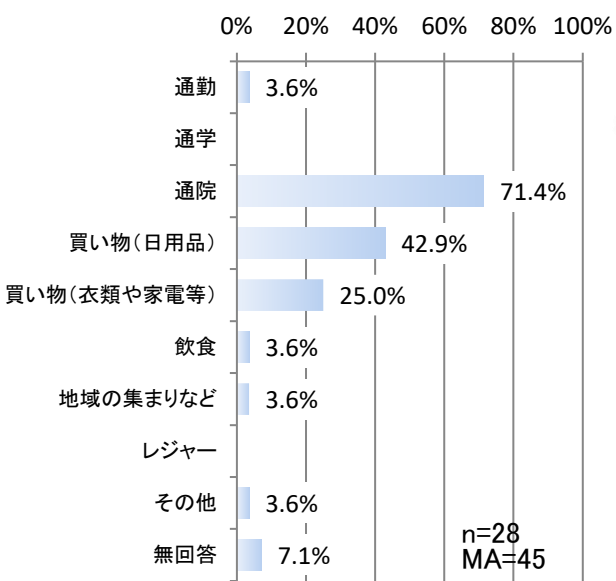


図 利用目的

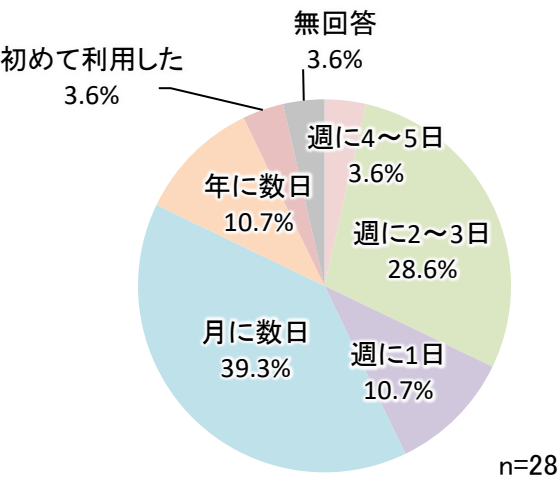


図 利用頻度

③ 町営コミュニティバスがなくなった場合の代わりの交通手段

- 代わりの交通手段は、「一般タクシー」「自動車(自分で運転)」「自動車(家族等の送迎)」が多い。

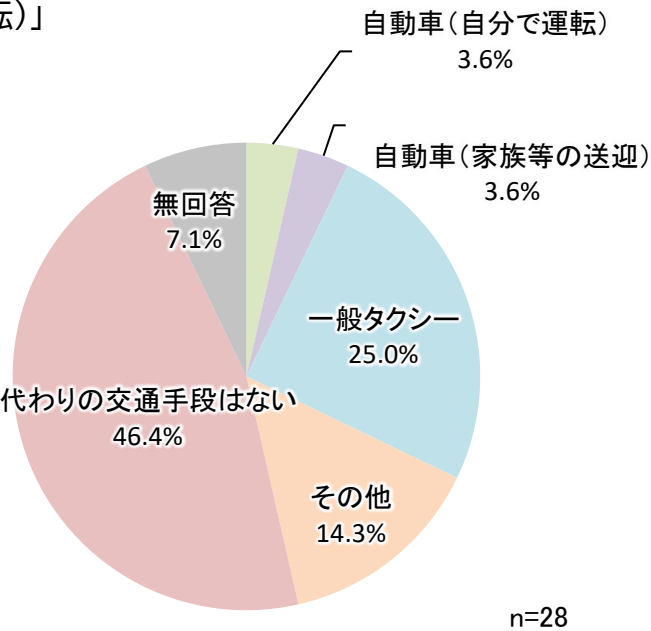


図 代わりの交通手段

④ 乗り継ぎ状況

- 町営コミュニティバス利用前後の交通手段は、乗車前・降車前ともに徒歩が一番多い。

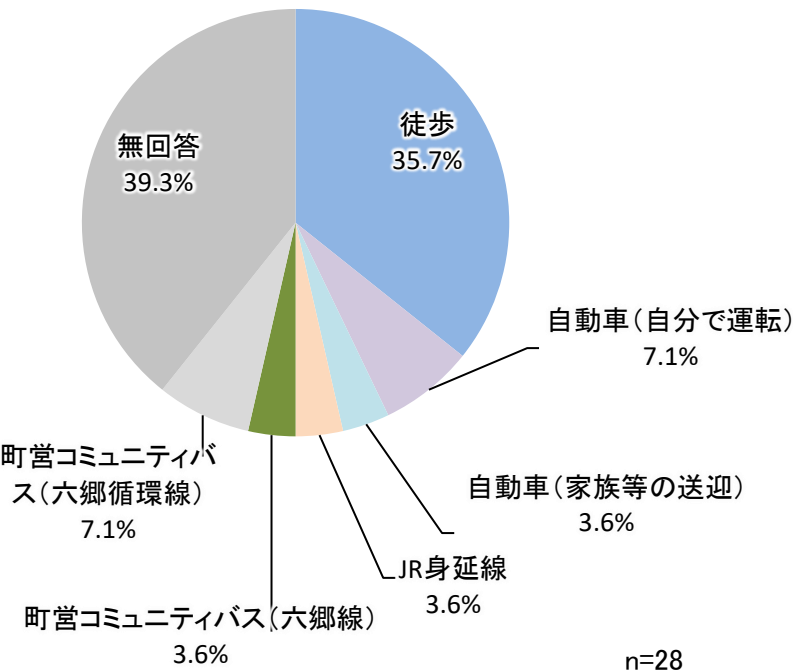


図 町営コミュニティバス乗車前の交通手段

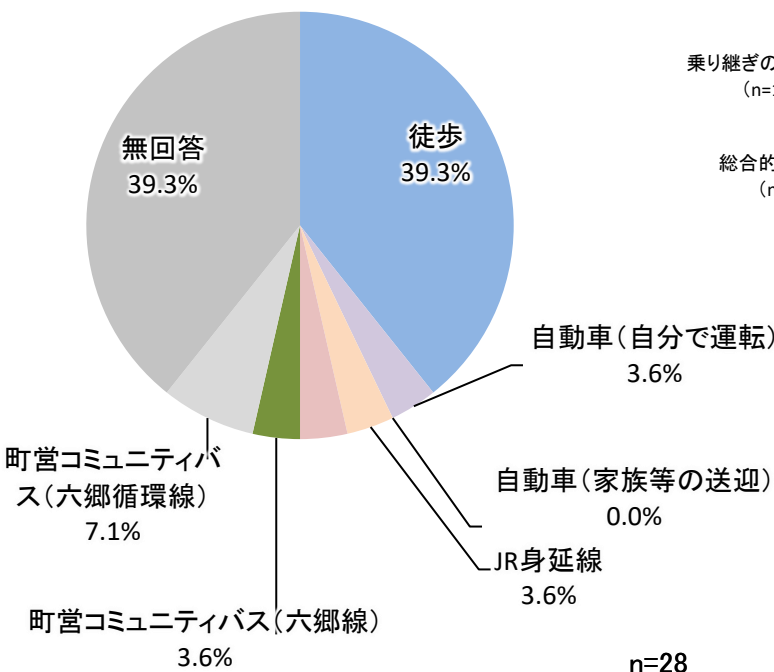


図 町営コミュニティバス降車後の交通手段

3. 満足度

- 満足度が高い項目は、「自宅～バス停間の距離」「バス停の快適さ」「運賃設定、割引運賃」である。
- 満足度が低い項目は、「日中時間帯の運行台数」「最終便の時間」「夕方以降の運行台数」である。

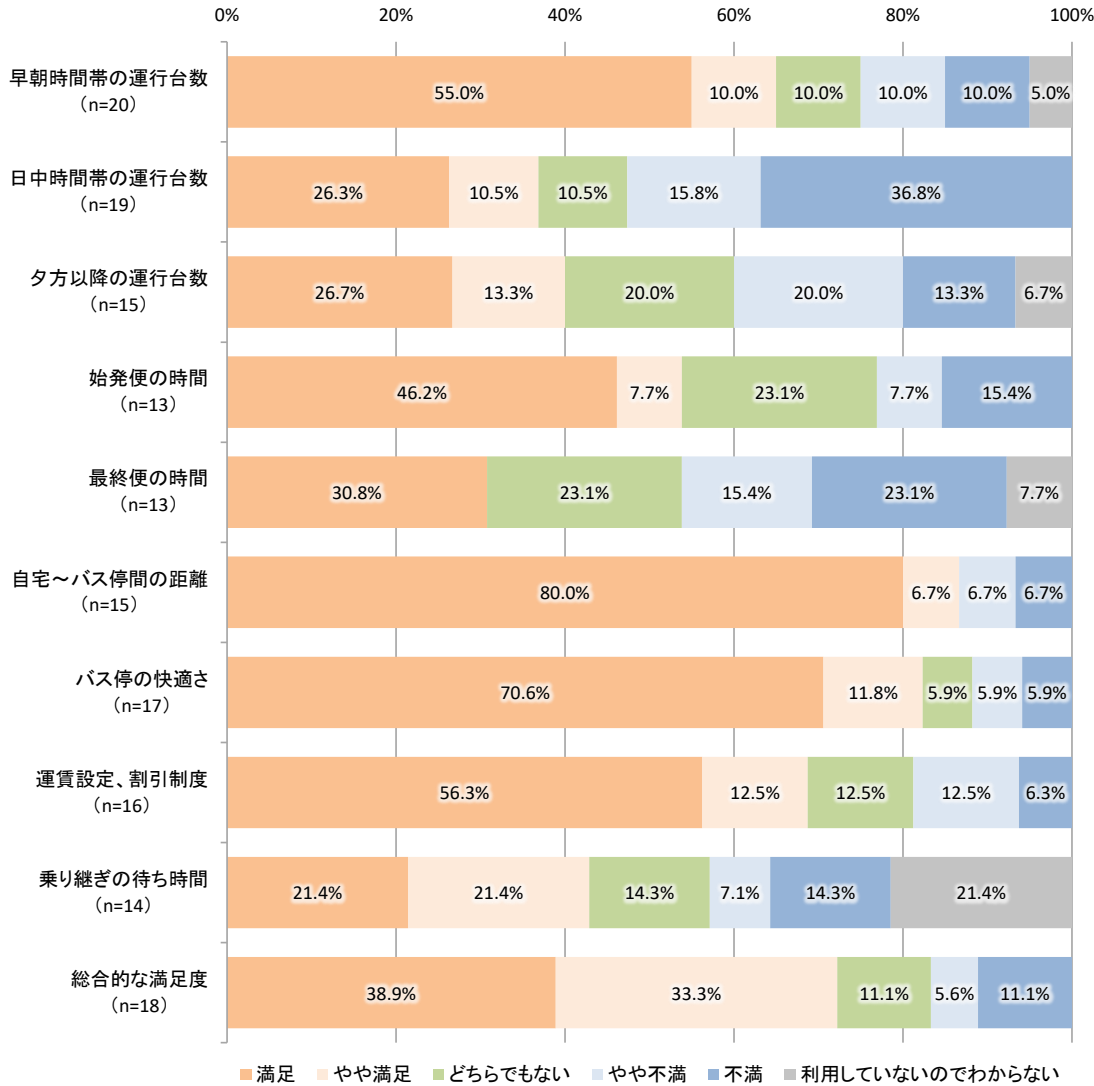


図 町営コミュニティバスの満足度